
令和5年度 ネットやスマホのなやみを解決 こたエール

年次報告



令和6年3月

1. 報告概略

- (1) 用語の解説: 相談者の区分
- (2) 用語の解説: 相談内容の区分

2. 受付方法

- (1)-1 当事者別
- (1)-2 青少年にかかる相談、相談者別
- (2) 相談内容別(4年度との比較)

3. 相談者

- (1) 青少年にかかる相談(4年度との比較)

4. 相談件数

- (1) 当事者別月別推移(4年度との比較)
- (2) 当事者別(4年度との比較)
- (3) 青少年にかかる相談／性別(4年度との比較)
- (4) 青少年にかかる相談／学年別(4年度との比較)
- (5) 学校別・相談者別(4年度との比較)
- (6) 相談内容別・青少年(詳細件数)

5. 使用端末

- (1) 相談対象となった使用端末
- (2) 相談対象となった使用端末別・内容項目
- (3) 学識別使用端末

6. 相談内容

- (1) 全体(4年度との比較)
- (2) 小学生に係る相談・相談者別
- (3) 小学生(4年度との比較)
- (4) 小学生1年生～3年生/4年生～6年生
- (5) 中学生にかかる相談・相談者別
- (6) 中学生(4年度との比較)
- (7) 高校生にかかる相談・相談者別
- (8) 高校生(4年度との比較)

7. 主な相談の概要

- (1) ネット上の書き込みトラブル(ネットいじめ、削除方法)
 - (ア) 青少年にかかる相談・内容別(4年度との比較)
 - (イ) 青少年にかかる相談・相談者の加害者・被害者別(4年度との比較)
 - (ウ) 青少年にかかる相談・書き込み内容別(4年度との比較)

(2) 依存

- (ア) 青少年にかかる相談・相談者別(4年度との比較)
- (イ) 青少年にかかる相談・依存している端末別(4年度との比較)

(3) 交友関係

- (ア) 青少年にかかる相談・当事者別/相談者別(4年度との比較)
- (イ) 青少年にかかる相談・相手と実際に会ったか(4年度との比較)
- (ウ) 青少年にかかる相談・知り合ったきっかけ(4年度との比較)
- (エ) 青少年にかかる相談・トラブルの内容(4年度との比較)

(4) 性的トラブル

- (ア) 青少年にかかる相談・当事者別/相談者別(4年度との比較)
- (イ) 青少年にかかる相談・相手と実際に会ったか(4年度との比較)
- (ウ) 青少年にかかる相談・知り合ったきっかけ(4年度との比較)
- (エ) 青少年にかかる相談・トラブルの内容(4年度との比較)

(5) 料金関係

- (ア) 青少年にかかる相談・相談者別(4年度との比較)
- (イ) 青少年にかかる相談・課金をしているサービス
- (ウ) 青少年にかかる相談・課金額別件数(4年度との比較)

(6) 架空請求

- (ア) 青少年にかかる相談・学識別/相談者別(4年度との比較)
- (イ) 青少年にかかる相談・請求金額別件数(4年度との比較)

(7) 自画撮り被害

- (ア) 青少年にかかる相談・相談者別、男女別件数
- (イ) 青少年にかかる相談・相談内容
- (ウ) 青少年にかかる相談・トラブルの相手

(8) パパ活トラブル

- (ア) 相談者別、男女件数
- (イ) トラブルの内容

8. フィルタリング

- (1) 青少年にかかる相談・利用状況(4年度との比較)
- (2) 青少年にかかる相談・内容別(4年度との比較)
- (3) 青少年にかかる相談・内容別/携帯電話等
- (4) 青少年にかかる相談・内容別/PC等
- (5) 青少年にかかる相談・防げたか

9. 考察

- (1) 件数の多い相談の考察
- (2) 青少年の学識別の考察

1. 報告概略

(1) 用語の解説: 相談者の区分

青少年	18歳(高校3年生)までの児童、生徒、未就学児
保護者等親族	青少年の保護者、家族、兄弟
学校関係者	青少年の通学先職員
職場関係者	青少年の勤務先職員、青少年関連の職場職員
その他	青少年の友人、知人
青少年以外	18歳以上の成人(年齢・学齢が不明の相談者も含む)

- 「青少年にかかる相談」とは、トラブルの当事者が「青少年」である相談。青少年本人、保護者等親族、学校関係者、職場関係者、その他からの相談が含まれる。
- 「青少年以外にかかる相談」とは、トラブルの当事者が青少年ではない相談。

1. 報告概略

(2) 用語の解説: 相談内容の区分

- 「こたエール」では、受け付けた相談内容を以下の18項目に分類している。

項目	例	項目	例
架空請求	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリックしたらいきなり登録完了となって、料金の請求をされた 	削除方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が映っている動画が勝手に投稿されているので削除してほしい
ショッピング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入した商品が届かない、ブランド品を購入したのに偽物が送られてきた 	料金関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が勝手にゲームで課金をしていたので取り消してほしい
ネットいじめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSのグループから自分だけ外された ・ インターネット上に悪口を書かれている 	フィルタリング関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィルタリングとは何か ・ 子供に初めてスマートフォンを持たせるときのルール作り
迷惑メール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登録した覚えのないサイトからメールが届く ・ チェーンメールが届く 	取引トラブル	<ul style="list-style-type: none"> ・ フリマアプリ、オークションで落札した商品が届かない、違うものが届いた
有害情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 占いサイトだと思っていたが出会い系サイトだった 	情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウイルス感染、フィッシング詐欺、不正アクセスなどの被害や対処法
著作権関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が作った画像が勝手に使われている 	個人情報関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報漏れ、個人情報悪用などの被害や対処法
依存	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォンを手放せず、ゲームにのめり込んでいる 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットトラブルのうち、既定の区分に当てはまらないもの
交友関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネット上で知らない人と出会ったことで心配事が起きた 	対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットとは無関係な相談 ・ パソコン、スマートフォンの使い方 ・ 固有のサービスの利用方法
性的トラブル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裸や下着姿の自画撮りを要求された、要求した、送信した、送信させた 	意味不明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談内容が不明なもの

2. 受付方法

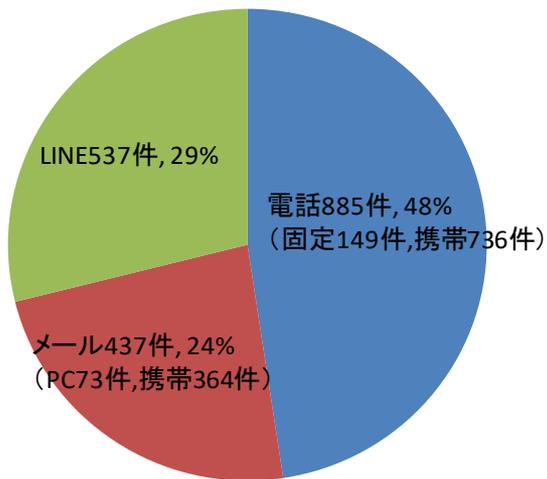
(1)-1. 当事者別



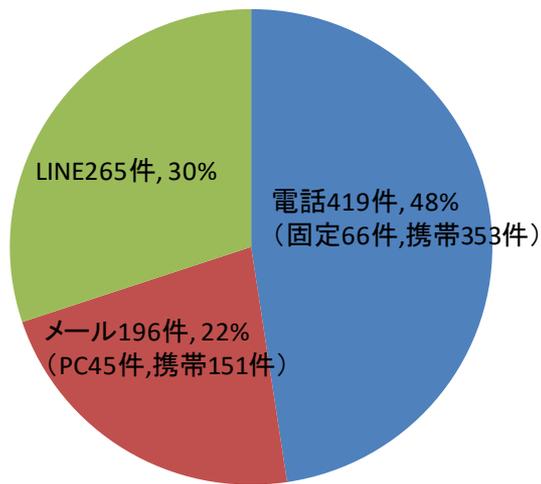
- 5年度の相談件数は、1,859件。内訳は、電話885件（固定149件・携帯736件）、メール437件（PC 73件・携帯364件）、LINE 537件となり、電話相談がもっとも多い。
- 青少年にかかる相談（880件）は、電話（419件、固定66件・携帯353件）がもっとも多く、メール（196件、PC45件・携帯151件）がもっとも少ない。
- 青少年以外にかかる相談（979件）も、電話（466件、固定83件・携帯383件）がもっとも多く、メール（241件、PC28件・携帯213件）がもっとも少ない。

※「青少年にかかる相談」とは、トラブルの当事者が「青少年」である相談。青少年本人、保護者等親族、学校関係者、職場関係者、その他からの相談が含まれる。「青少年以外にかかる相談」とは、トラブルの当事者が青少年ではない相談。年齢・学齢が不明の相談者も青少年以外に含まれる。

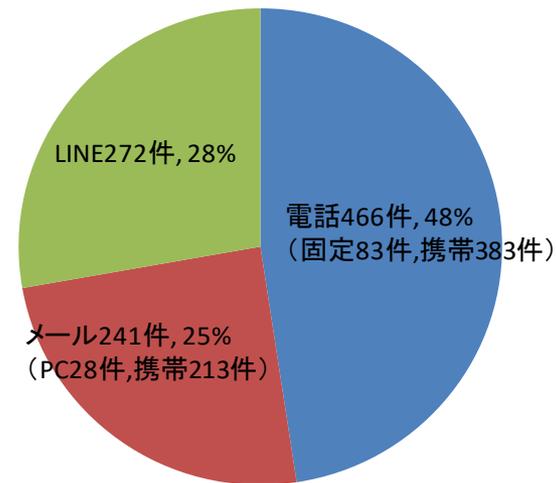
相談全体
1,859件



青少年にかかる相談
880件



青少年以外にかかる相談
979件



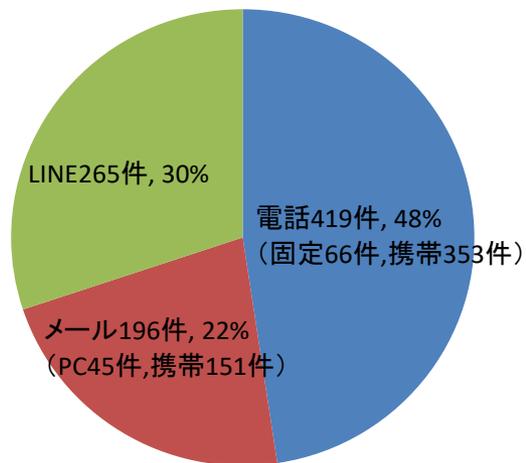
2. 受付方法

(1)-2. 青少年にかかる相談、相談者別

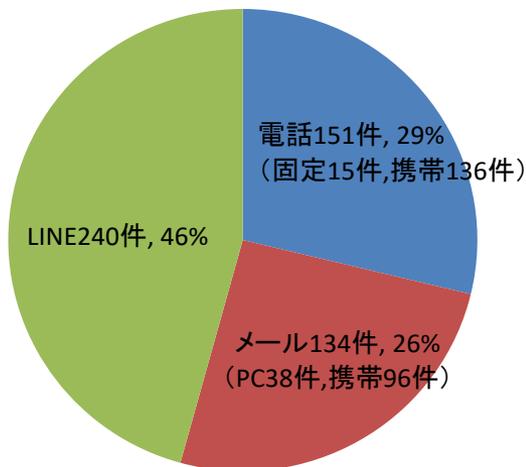
- 青少年本人からの相談は、LINE(240件)がもっとも多く、次に多いのは電話(151件、固定15件、携帯136件)であった。メール相談の「PC」には、パソコンのほか、タブレット、デジタルオーディオプレーヤー、ゲーム機等も含まれる。
- 青少年本人以外からの相談では、電話(268件、固定51件、携帯217件)がもっとも多く、LINE(25件)がもっとも少ない。

※「青少年本人以外からの相談」とは、青少年の保護者等親族、学校関係者、職場関係者、その他(友人・知人など)からの相談。

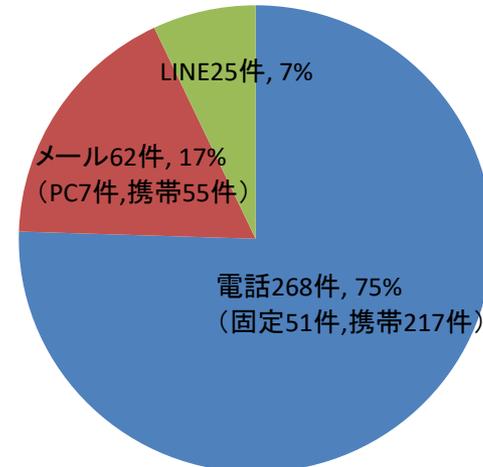
青少年にかかる相談全体
880件



青少年本人からの相談
525件



青少年本人以外からの相談
355件



2. 受付方法

(2) 相談内容別(4年度との比較)

- 5年度の電話相談(885件)では、情報セキュリティ(95件、10.7%)がもっとも多い。メール・LINEと比べて情報セキュリティと依存(68件、7.7%)が特に多いのが特徴的である(対象外の相談を除く)。
- メール相談(437件)では、削除方法(77件、17.6%)がもっとも多く、次にネットいじめ(55件、12.6%)、性的トラブル(31件、7.1%)と続いた(対象外の相談を除く)。
- LINE相談(537件)では、ネットいじめ(58件、10.8%)がもっとも多く、次に交友関係(50件、9.3%)、個人情報関連(46件、8.6%)と続いた(対象外の相談・意味不明を除く)。

※対象外の相談には、インターネットとは無関係な相談(家族関係、学校や友達の悩み)、パソコン、スマートフォン、アプリの使い方(端末固有の操作や設定の方法など)が含まれる。LINE相談では無応答も多く、意味不明に含まれている。

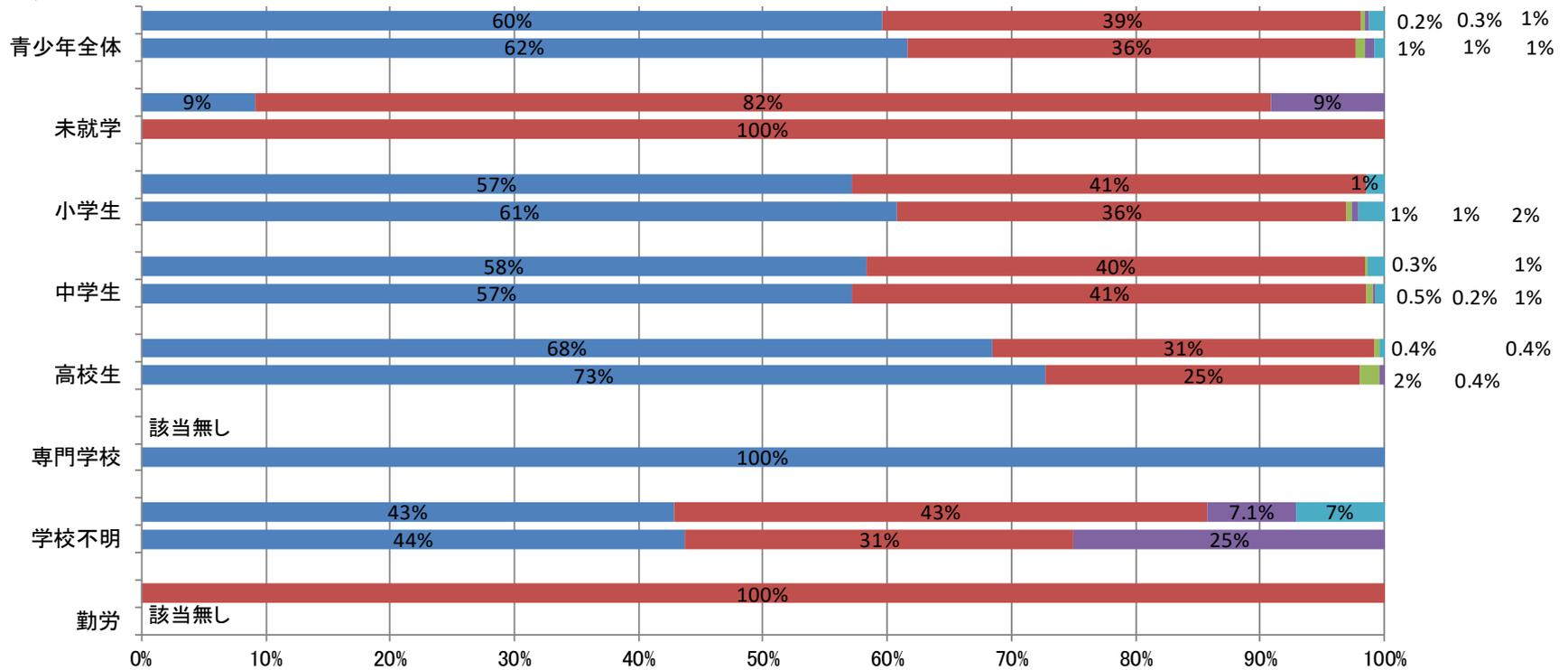
	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
5年度 電話 (885件)	14件 (1.6%)	20件 (2.3%)	55件 (6.2%)	35件 (4.0%)	9件 (1.0%)	15件 (1.7%)	68件 (7.7%)	53件 (6.0%)	37件 (4.2%)	35件 (4.0%)	33件 (3.7%)	31件 (3.5%)	18件 (2.0%)	95件 (10.7%)	57件 (6.4%)	50件 (5.6%)	257件 (29.0%)	3件 (0.3%)
4年度 電話 (547件)	22件 (4.0%)	5件 (0.9%)	36件 (6.6%)	7件 (1.3%)	7件 (1.3%)	25件 (4.6%)	78件 (14.3%)	37件 (6.8%)	63件 (11.5%)	31件 (5.7%)	46件 (8.4%)	29件 (5.3%)	9件 (1.6%)	37件 (6.8%)	40件 (7.3%)	19件 (3.5%)	55件 (10.1%)	1件 (0.2%)
5年度 メール (437件)	19件 (4.3%)	10件 (2.3%)	55件 (12.6%)	2件 (0.5%)	8件 (1.8%)	5件 (1.1%)	16件 (3.7%)	12件 (2.7%)	31件 (7.1%)	77件 (17.6%)	11件 (2.5%)	9件 (2.1%)	8件 (1.8%)	8件 (1.8%)	25件 (5.7%)	5件 (1.1%)	116件 (26.5%)	20件 (4.6%)
4年度 メール (393件)	43件 (10.9%)	7件 (1.8%)	17件 (4.3%)	2件 (0.5%)	13件 (3.3%)	9件 (2.3%)	16件 (4.1%)	29件 (7.4%)	77件 (19.6%)	21件 (5.3%)	23件 (5.9%)	5件 (1.3%)	11件 (2.8%)	9件 (2.3%)	10件 (2.5%)	5件 (1.3%)	91件 (23.2%)	5件 (1.3%)
5年度 LINE (537件)	5件 (0.9%)	-	58件 (10.8%)	5件 (0.9%)	3件 (0.6%)	9件 (1.7%)	17件 (3.2%)	50件 (9.3%)	26件 (4.8%)	15件 (2.8%)	10件 (1.9%)	5件 (0.9%)	4件 (0.7%)	34件 (6.3%)	46件 (8.6%)	16件 (3.0%)	126件 (23.5%)	108件 (20.1%)
4年度 LINE (720件)	10件 (1.4%)	10件 (1.4%)	41件 (5.7%)	6件 (0.8%)	6件 (0.8%)	7件 (1.0%)	23件 (3.2%)	97件 (13.5%)	47件 (6.5%)	19件 (2.6%)	9件 (1.3%)	6件 (0.8%)	3件 (0.4%)	20件 (2.8%)	38件 (5.3%)	9件 (1.3%)	242件 (33.6%)	127件 (17.6%)

3. 相談者

(1) 青少年にかかる相談(4年度との比較)

- 4年度と比較すると、青少年全体では本人の割合が減少し(62%→60%)、保護者の割合が増加した(36%→39%)。
- 小学生と高校生は、本人からの割合が4年度よりも減少した(小学生:61%→57%、高校生:73%→68%)。
- 中学生は、本人からの割合がわずかに増加した(57%→58%)。
- 未就学児本人からの相談(9%)は5年度が初めてである。

上段:5年度
 下段:4年度



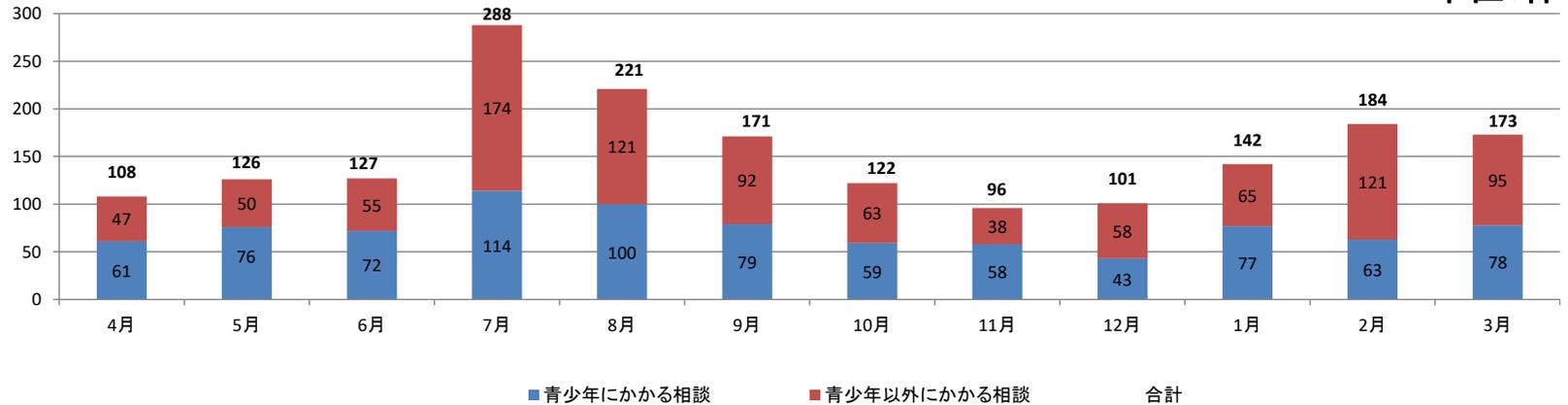
4. 相談件数

(1) 当事者別月別推移(4年度との比較)

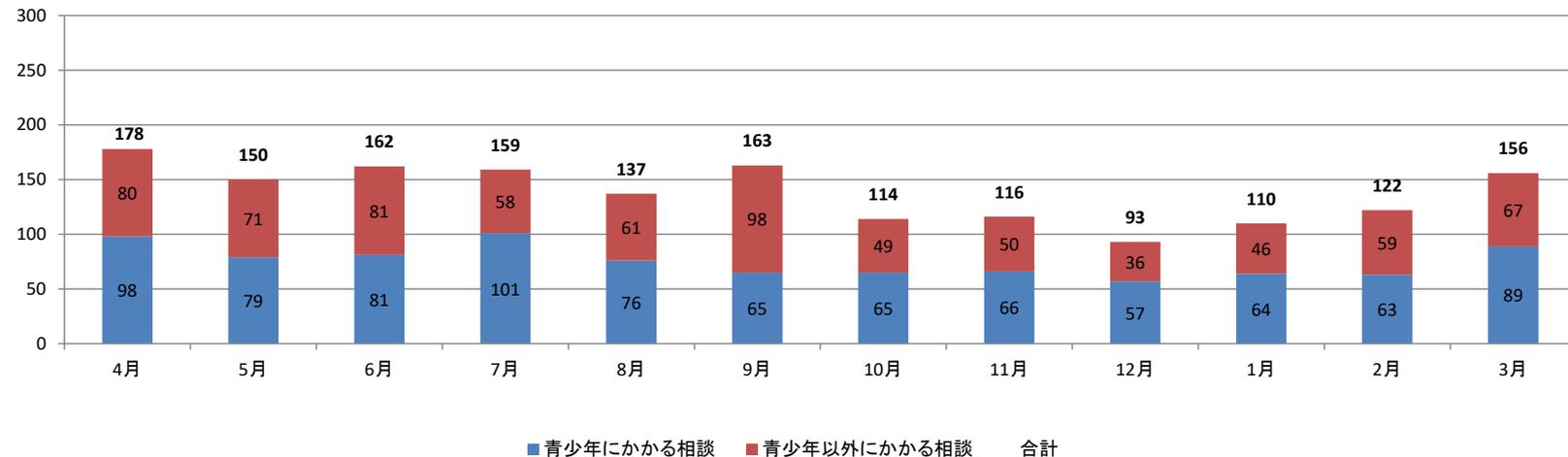
- 全体の相談件数は1,859件。4年度(1,660件)と比べ約11%増加した。特に7月の288件(青少年114件、青少年以外174件)、8月の221件(青少年100件、青少年以外121件)は、4年度の7月の159件(青少年101件、青少年以外58件)、8月の137件(青少年76件、青少年以外61件)を大幅に上回った。5年度で相談件数がもっとも少ないのは11月の96件(青少年58件、青少年以外38件)である。
- 5年度の青少年にかかる相談は7月(114件)がもっとも多く、次に多いのが8月(100件)である。9月から12月までは減少傾向にあり、1月(77件)に再び増加している。

単位: 件

5年度
1,859件



4年度
1,660件

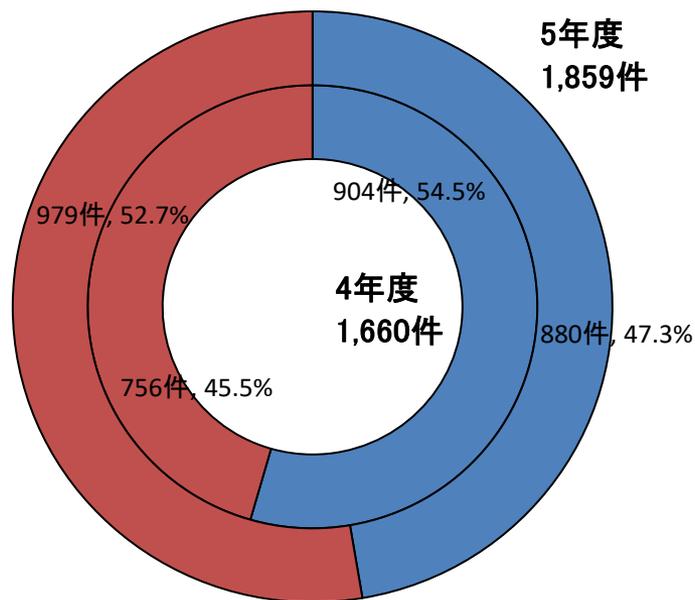


4. 相談件数

(2) 当事者別(4年度との比較)

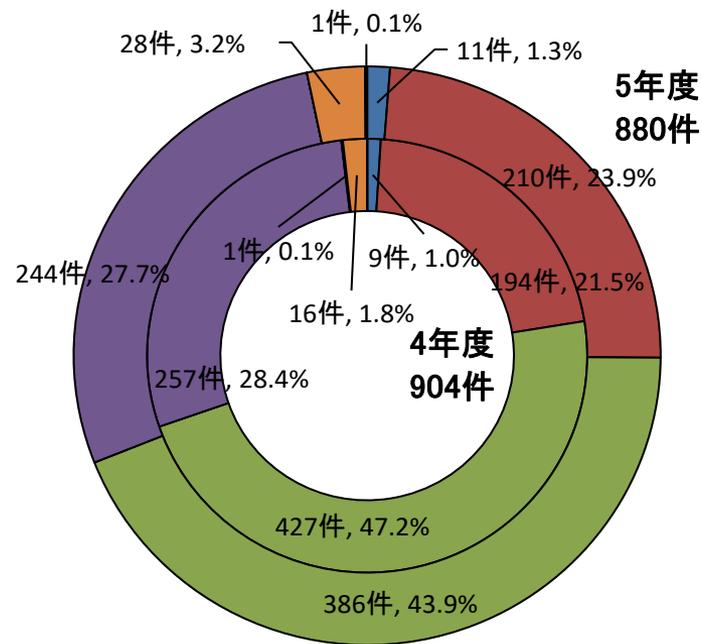
- 当事者別では、青少年にかかる相談(904件、54.5%→880件、47.3%)が件数、割合ともに減少した。青少年以外にかかる相談(756件、45.5%→979件、52.7%)が増加傾向にある。
- 青少年にかかる相談では、4年度と同様、中学生にかかる相談がもっとも多いが、件数、割合ともに減少した(427件、47.2%→386件、43.9%)。小学生にかかる相談は、件数、割合ともに増加した(194件、21.5%→210件、23.9%)。高校生にかかる相談は、件数、割合ともにわずかに減少した(257件、28.4%→244件、27.7%)。

相談全体



■ 青少年にかかる相談 ■ 青少年以外にかかる相談

青少年にかかる相談



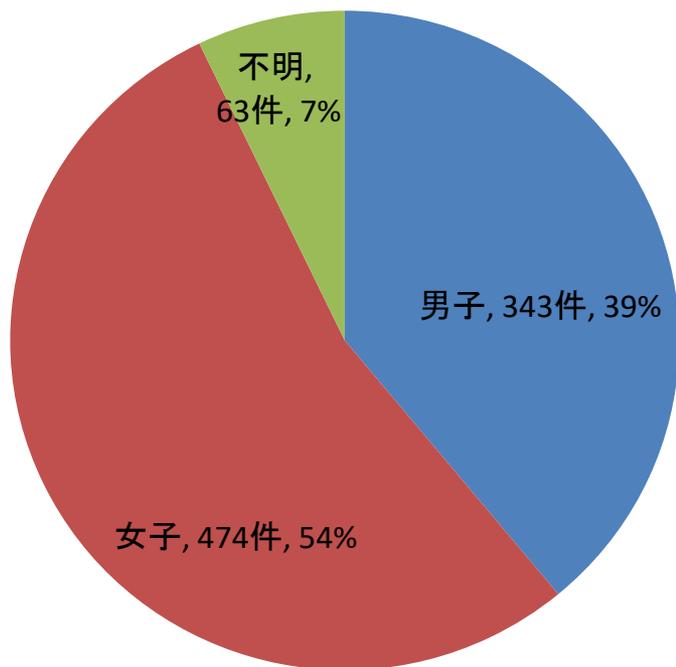
■ 未就学にかかる相談 ■ 小学生にかかる相談
 ■ 中学生にかかる相談 ■ 高校生にかかる相談
 ■ 専門学校等にかかる相談 ■ 学校不明にかかる相談
 ■ 勤労

4. 相談件数

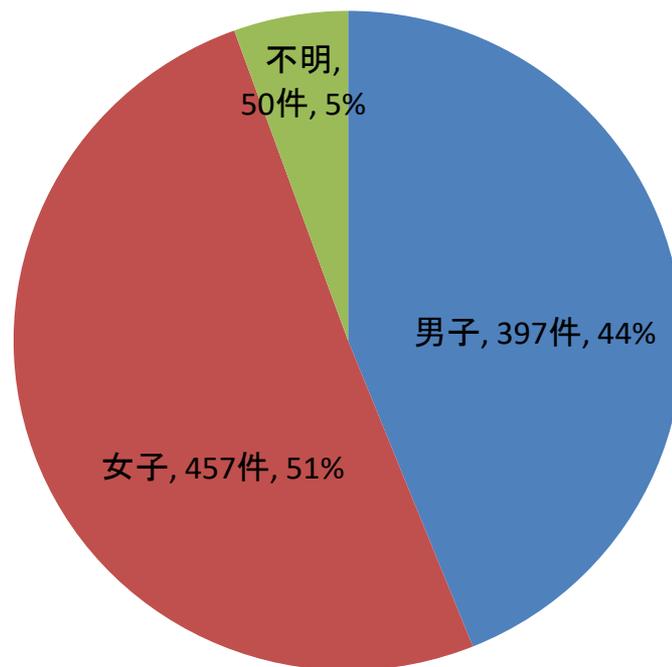
(3) 青少年にかかる相談／性別(4年度との比較)

- 5年度の青少年にかかる相談は880件。男女の内訳は、男子343件(39%)、女子474件(54%)。当事者が女子である相談が多い。
- 4年度との比較では、男子が件数、割合ともに減少し(397件、44%→343件、39%)。女子は件数、割合ともに増加した(457件、51%→474件、54%)。

5年度
880件



4年度
904件



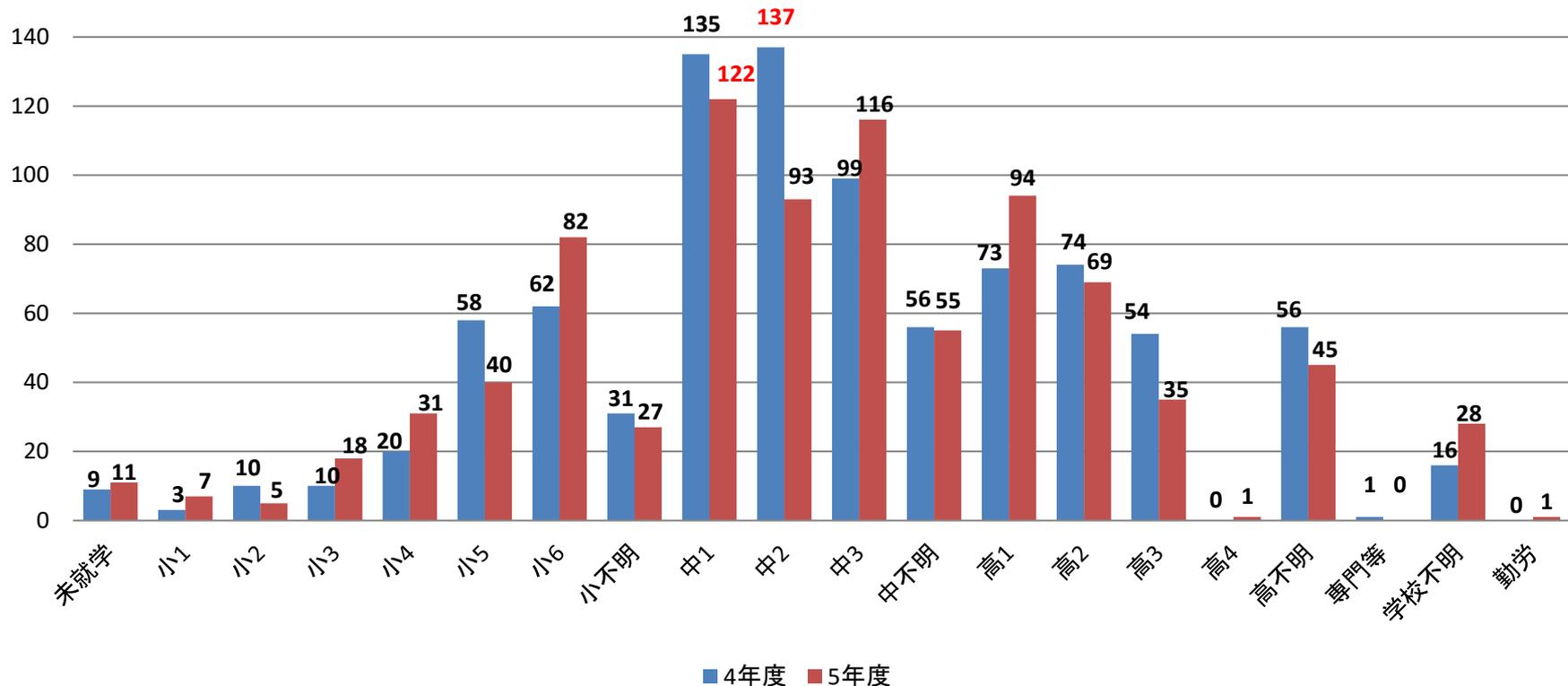
4. 相談件数

(4) 青少年にかかる相談／学年別(4年度との比較)

- 5年度の青少年にかかる相談は880件。中学1年生(122件)がもっとも多い。
- 小学生は、1年生(3件→7件)、3年生(10件→18件)、4年生(20件→31件)、6年生(62件→82件)が増加し、2年生(10件→5件)、5年生(58件→40件)が減少した。
- 中学生は、1年生(135件→122件)、2年生(137件→93件)は減少し、3年生(99件→116件)のみ増加した。
- 高校生は、1年生(73件→94件)のみ増加し、2年生(74件→69件)、3年生(54件→35件)は減少した。

単位:件

※4年度と5年度においてもっとも多い学年の件数を赤字で示した。



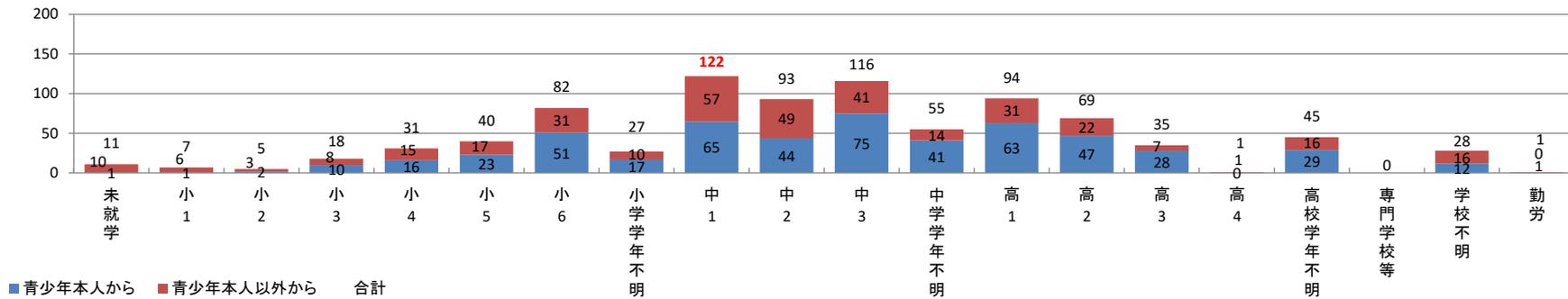
4. 相談件数

(5) 学年別・相談者別(4年度との比較)

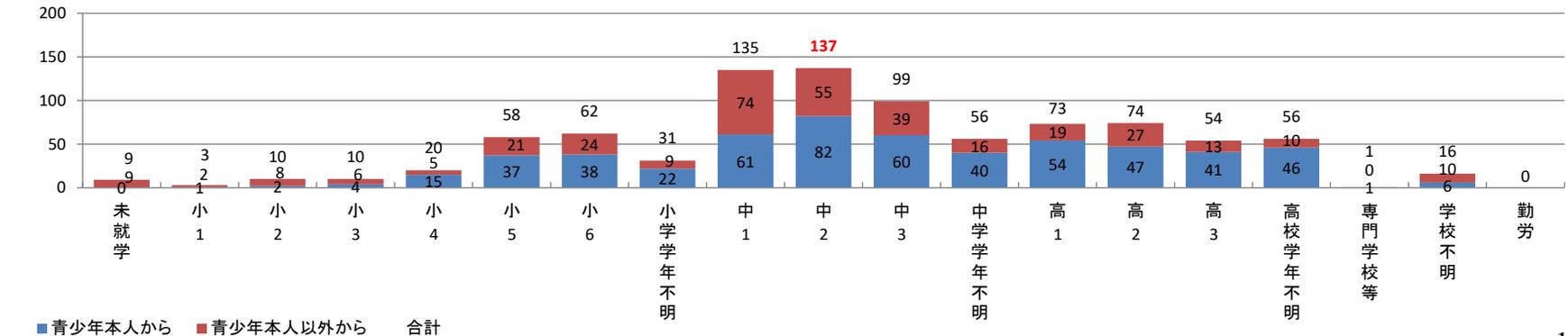
- 青少年にかかる相談は880件。中学1年生(122件)がもっとも多く、本人からの相談は中学3年生(75件)がもっとも多い。
- 4年度と比べ本人からの相談が増加したのは、小学生では、3年生(4件→10件)、4年生(15件→16件)、6年生(38件→51件)。中学生では1年生(61件→65件)、3年生(60件→75件)。高校生では1年生(54件→63件)。

単位:件

5年度
880件



4年度
904件



4. 相談件数

(6) 相談内容別・青少年(詳細件数)

■ 5年度の青少年にかかる相談(880件)について、相談内容別の学年別相談件数は、下記のとおり。

※各学年ごとにもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

単位:件

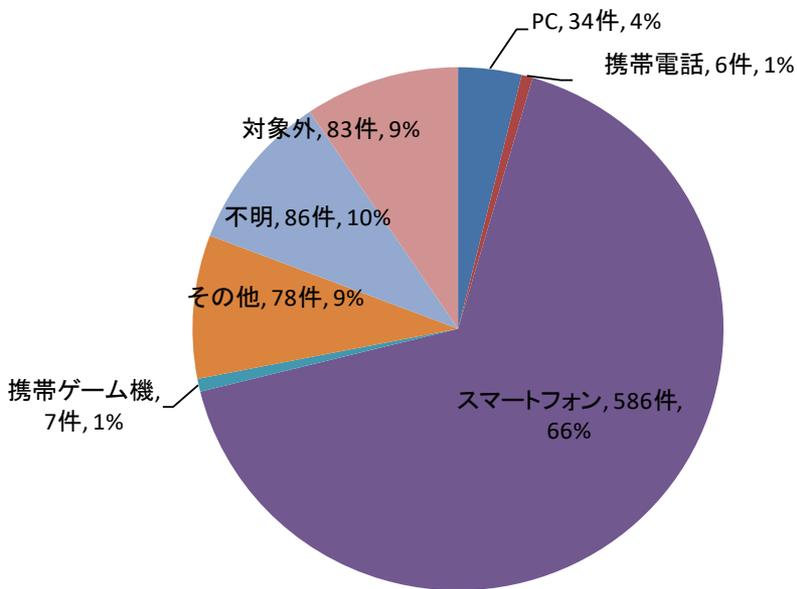
	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小不明	中1	中2	中3	中不明	高1	高2	高3	高4	高不明	専門	学校不明	勤労	合計
架空請求							2	1	1	1	7	2	1				4		1		20
ショッピング													1	2	1						4
ネットいじめ	1			2	8	8	7	2	17	12	13	4	12	4	5		5		1		101
迷惑メール									1			1	1	3							6
有害情報		1					2			1	1	1	2	1							9
著作権関連						1	3		4	3	6		4								21
依存		3		4	3	6	10	1	19	12	8	4	13	7			5		1		96
交友関係				1	1	3	7		13	8	10	2	15	8	4		4		1	1	78
性的トラブル				1	1	1	3		12	6	7	5	11	13	8		5		1		74
削除方法				1	1	1	5	1	6	3	2	2		5			4		1		32
料金関係	3	1	2		1	5	7	3	2	4	1	1	2	1			1		1		35
フィルタリング関係	1				1	1	6	3	12	7	5	1	2	1			1				41
取引トラブル									3	3	2	3	1	3	4		1				20
情報セキュリティ				1	2	1	3	2	2	11	4	2	13	3		1					45
個人情報関連				1	2	1	10	1	15	8	25	4	9	1	5		4		1		87
その他					2		1		4	1	12	1	1	6	2				5		35
対象外の相談	6	2	3	7	8	11	16	10	11	13	13	19	6	9	6		11		12		163
意味不明					1	1		3				3		2					3		13
合計	11	7	5	18	31	40	82	27	122	93	116	55	94	69	35	1	45	0	28	1	880

5. 使用端末

(1) 相談対象となった使用端末

- 青少年にかかる相談(880件)の使用端末は、スマートフォン(586件、66%)がもっとも多い。
- 携帯電話(フィーチャーフォン)は年々減少し(6件、1%)、PC(34件、4%)や携帯ゲーム機(7件、1%)を下回った。
- 使用機種がPHSの相談は0件であった。
- 「その他」(78件、9%)には、タブレット、デジタルオーディオプレーヤー、回線契約無しスマートフォン等が含まれる。

青少年にかかる相談
880件



使用端末	相談者					合計
	本人	保護者等親族	学校職員	職場職員	その他	
PC	20件	14件	-	-	-	34件
携帯	3件	3件	-	-	-	6件
PHS	-	-	-	-	-	-
スマートフォン	354件	226件	1件	-	5件	586件
携帯ゲーム機	1件	6件	-	-	-	7件
その他	49件	29件	-	-	-	78件
不明	57件	22件	1件	2件	4件	86件
対象外	41件	39件	-	1件	2件	83件
合計	525件	339件	2件	3件	11件	880件

5. 使用端末

(2) 相談対象となった使用端末別・内容項目

- 青少年にかかる相談(880件)では、スマートフォンでのネットいじめ(68件)がもっとも多い。次にスマートフォンでの個人情報関連(65件)、スマートフォンでの依存・性的トラブル(62件)となった(対象外の相談を除く)。
- PCに関しては依存(5件)がもっとも多い(対象外の相談を除く)。
- 「その他」の端末においても依存(18件)が多く、タブレット、デジタルオーディオプレーヤー、回線契約無しスマートフォンでも長時間利用の問題が起きていることを示している。

※端末ごとにもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

単位:件

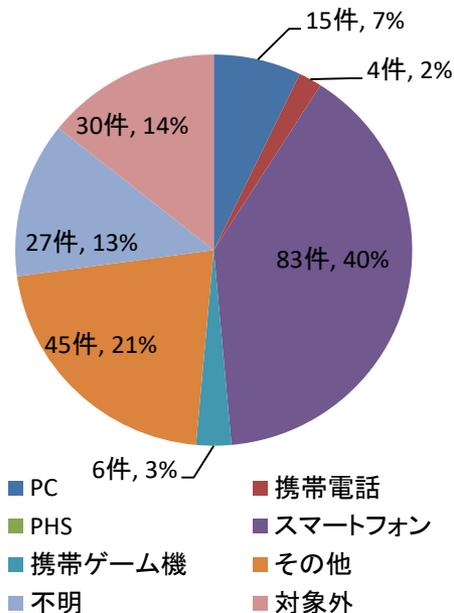
内容項目	使用端末								合計
	PC	携帯電話	PHS	スマートフォン	携帯ゲーム機	その他	不明	対象外	
架空請求	2			17			1		20
ショッピング	1			3					4
ネットいじめ	3			68		2	28		101
迷惑メール	1			5					6
有害情報	1			6		1	1		9
著作権関連				17		4			21
依存	5			62	5	18	6		96
交友関係	2	1		58		3	14		78
性的トラブル	2	1		62		1	8		74
削除方法	2			21		4	5		32
料金関係				30	1	2	2		35
フィルタリング関係	2			31		6	2		41
取引トラブル				18		1	1		20
情報セキュリティ	2			36		5	2		45
個人情報関連	1	1		65	1	9	10		87
その他	1			23		5	6		35
対象外の相談	8	2		58		14		81	163
意味不明	1	1		6		3		2	13
合計	34	6	0	586	7	78	86	83	880

5. 使用端末

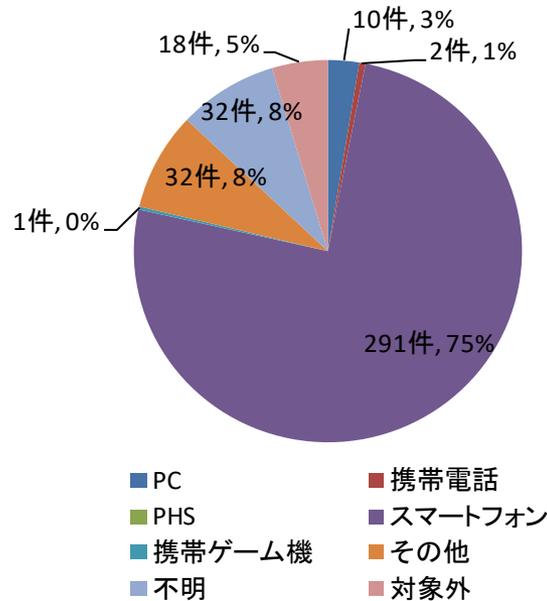
(3) 学識別使用端末

- 学識別においてもスマートフォンの割合がもっとも多く、小学生(83件、40%)、中学生(291件、75%)、高校生(200件、82%)であった。
- 小学生では、スマートフォンの次に多いのは「その他」の端末(45件、21%)であり、主にタブレット、デジタルオーディオプレーヤー、回線契約無しスマートフォンである。携帯ゲーム機(6件、3%)が中学生・高校生と比べてやや多い。
- 中学生・高校生では、スマートフォンの割合が70%を超え、それ以外の割合が非常に少ない。

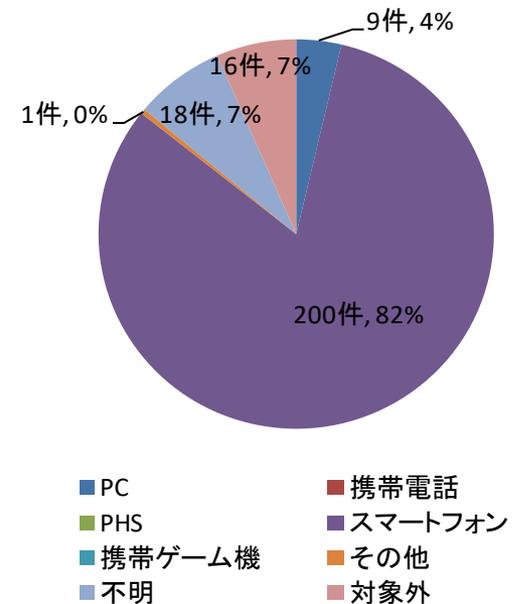
小学生にかかる相談
210件



中学生にかかる相談
386件



高校生にかかる相談
244件

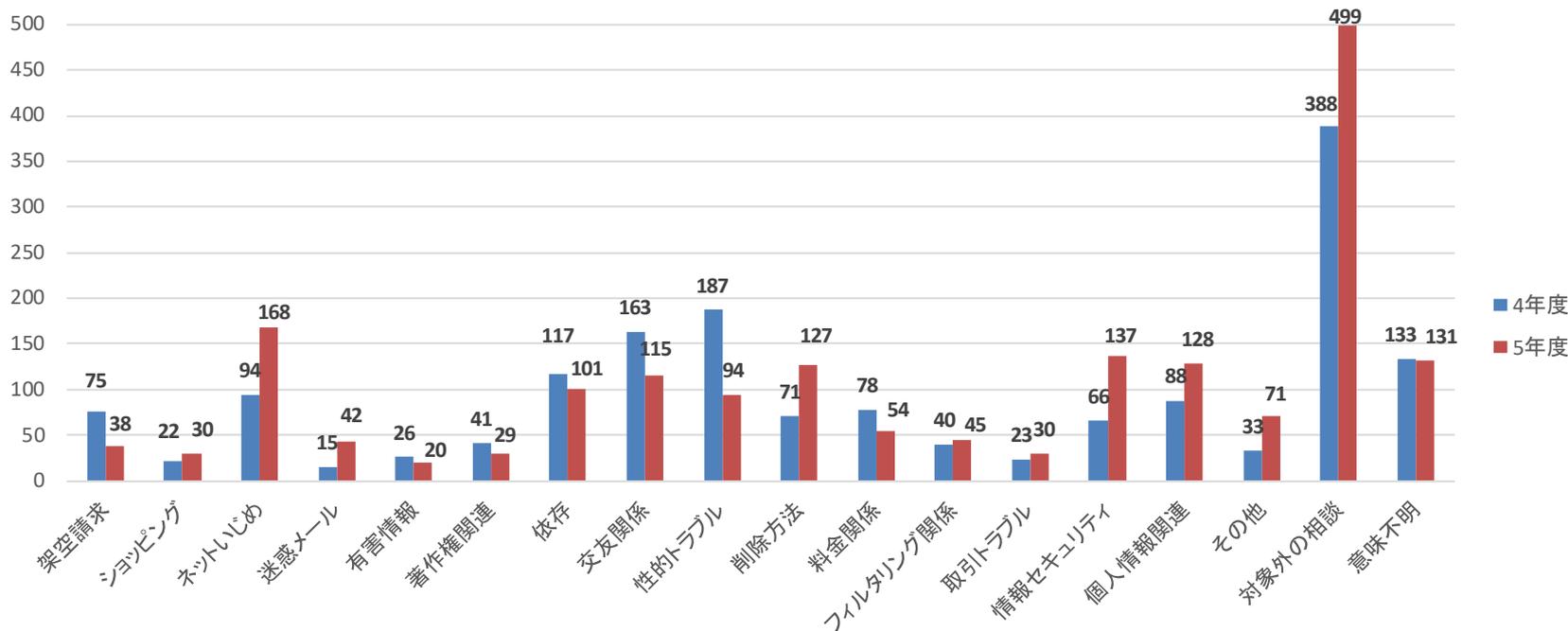


6. 相談内容

(1) 全体(4年度との比較)

- 5年度の相談件数(1,859件)は4年度(1,660件)と比べ約11%増加した。
- 対象外の相談を除きもっとも多かったのは、ネットいじめ(168件)であり、4年度と比べ大幅に増加した。
- 主に増加した項目は、ショッピング(22件→30件)、迷惑メール(15件→42件)、削除方法(71件→127件)、情報セキュリティ(66件→137件)、個人情報関連(88件→128件)。
- 主に減少した項目は、架空請求(75件→38件)、依存(117件→101件)、交友関係(163件→115件)、性的トラブル(187件→94件)、料金関係(78件→54件)。

単位:件



6. 相談内容

(2) 小学生にかかる相談・相談者別

- 小学生にかかる相談(210件)の相談者別、相談内容の構成比は下記のとおり。
- 5年度、小学生全体ではネットいじめ・依存(27件、13%)の相談がもっとも多かった(対象外の相談を除く)。

※相談者ごとにもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

5年度 210件

	架空請求	ショッ ピング	ネット いじめ	迷惑 メール	有害情報	著作権 関連	依存	交友関係	性的 トラブル	削除方法	料金関係	フィルタ リング 関係	取引 トラブル	情報 セキュリ ティ	個人情報 関連	その他	対象外の 相談	意味不明
小学生全体 (210件)	3件 (1%)	-	27件 (13%)	-	3件 (1%)	4件 (2%)	27件 (13%)	12件 (6%)	6件 (3%)	9件 (4%)	19件 (9%)	11件 (5%)	-	9件 (4%)	15件 (7%)	3件 (1%)	57件 (27%)	5件 (2%)
小学生本人 (120件)	3件 (3%)	-	21件 (18%)	-	2件 (2%)	4件 (3%)	5件 (4%)	6件 (5%)	2件 (2%)	7件 (6%)	5件 (4%)	1件 (1%)	-	8件 (7%)	9件 (8%)	2件 (2%)	40件 (33%)	5件 (4%)
小学生保護者 (87件)	-	-	6件 (7%)	-	1件 (1%)	-	22件 (25%)	6件 (7%)	4件 (5%)	2件 (2%)	14件 (16%)	10件 (11%)	-	1件 (1%)	6件 (7%)	1件 (1%)	14件 (16%)	-
小学生学校職員 (0件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学生職場職員 (0件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学生その他 (3件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3件 (100%)	-

6. 相談内容

(3) 小学生(4年度との比較)

- 5年度の小学生にかかる相談(210件)は、4年度(194件)と比べ約8%増加した。もっとも多かったのはネットいじめ(16件、8%→27件、13%)と依存(31件、16%→27件、13%)だが、依存については4年度と比べ件数、割合ともに減少した。
- 増加した項目は主に、削除方法(3件、2%→9件、4%)、個人情報関連(6件、3%→15件、7%)である。
- 減少した項目は主に、架空請求(16件、8%→3件、1%)、性的トラブル(9件、5%→6件、3%)、料金関係(21件、11%→19件、9%)である。

※4年度と5年度においてそれぞれもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
5年度 (210件)	3件 (1%)	-	27件 (13%)	-	3件 (1%)	4件 (2%)	27件 (13%)	12件 (6%)	6件 (3%)	9件 (4%)	19件 (9%)	11件 (5%)	-	9件 (4%)	15件 (7%)	3件 (1%)	57件 (27%)	5件 (2%)
4年度 (194件)	16件 (8%)	1件 (1%)	16件 (8%)	-	2件 (1%)	3件 (2%)	31件 (16%)	16件 (8%)	9件 (5%)	3件 (2%)	21件 (11%)	9件 (5%)	1件 (1%)	8件 (4%)	6件 (3%)	5件 (3%)	42件 (22%)	5件 (3%)

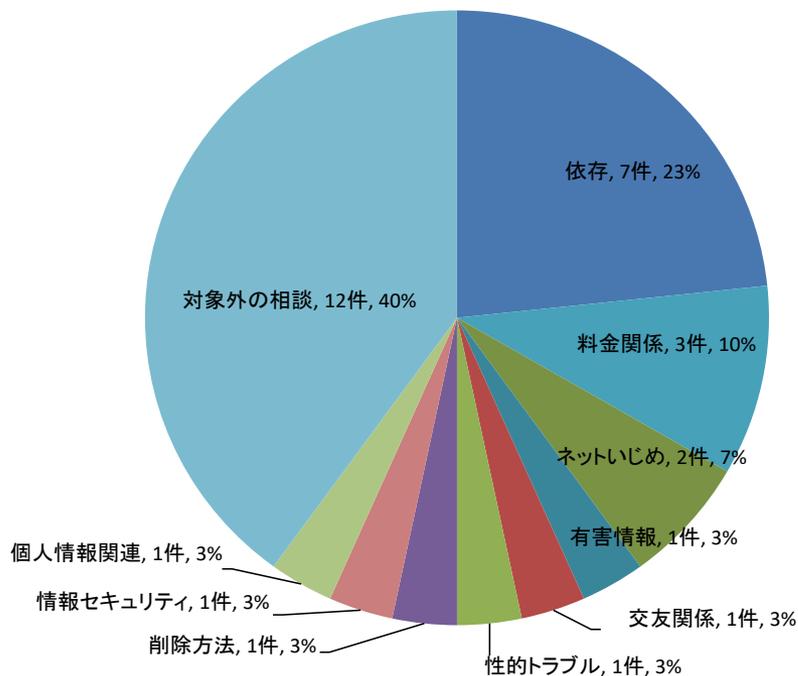
6. 相談内容

(4) 小学1年生～3年生/4年生～6年生

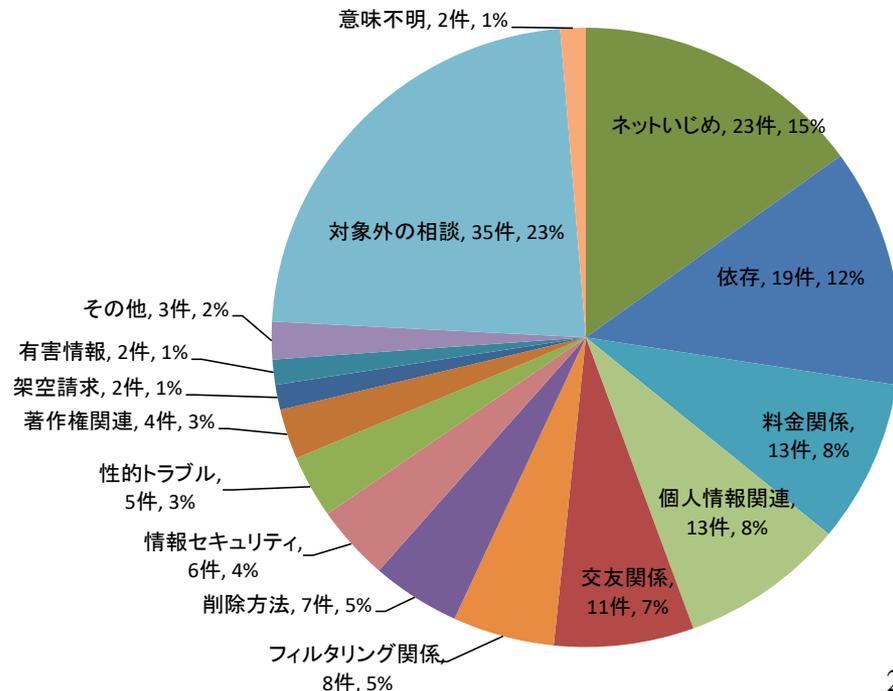


- 小学生にかかる相談210件のうち、1～3年生にかかる相談は30件、4～6年生にかかる相談は153件、学年不明は27件で、4～6年生が7割以上を占めている。
- 1～3年生にかかる相談は30件と少ないが、依存(7件、23%)と料金関係(3件、10%)で約3割を占めており、インターネットの長時間利用やゲーム課金に悩む保護者からの相談が多い。
- 4～6年生にかかる相談ではネットいじめ(23件、15%)がもっとも多く、依存(19件、12%)、料金関係(13件、8%)と続いている。個人情報関連、交友関係、性的トラブルなど、中高生と同様のSNSトラブルも多く含まれている。

1年～3年
30件



4年～6年
153件



6. 相談内容

(5) 中学生にかかる相談・相談者別

- 中学生にかかる相談(386件)の相談者別、相談内容の構成比は下記のとおり。
- 5年度、中学生全体では個人情報関連(52件、13%)の相談がもっとも多かった(対象外の相談を除く)。

※相談者ごとにもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

5年度
386件

	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
中学生全体 (386件)	11件 (3%)	-	46件 (12%)	2件 (1%)	3件 (1%)	13件 (3%)	43件 (11%)	33件 (9%)	30件 (8%)	13件 (3%)	8件 (2%)	25件 (6%)	11件 (3%)	19件 (5%)	52件 (13%)	18件 (5%)	56件 (15%)	3件 (1%)
中学生本人 (225件)	11件 (5%)	-	23件 (10%)	2件 (1%)	2件 (1%)	10件 (4%)	5件 (2%)	18件 (8%)	11件 (5%)	8件 (4%)	1件 (0%)	4件 (2%)	6件 (3%)	16件 (7%)	45件 (20%)	15件 (7%)	45件 (20%)	3件 (1%)
中学生保護者 (155件)	-	-	22件 (14%)	-	-	3件 (2%)	36件 (23%)	14件 (9%)	19件 (12%)	4件 (3%)	7件 (5%)	21件 (14%)	5件 (3%)	3件 (2%)	7件 (5%)	3件 (2%)	11件 (7%)	-
中学生学校職員 (1件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1件 (100%)	-	-	-	-	-	-	-	-
中学生職場職員 (0件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中学生その他 (5件)	-	-	1件 (20%)	-	1件 (20%)	-	2件 (40%)	1件 (20%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6. 相談内容

(6) 中学生(4年度との比較)

- 5年度の中学生にかかる相談(386件)は、4年度(427件)と比べ約10%減少した。もっとも多かったのは個人情報関連(35件、8%→52件、13%)である(対象外の相談を除く)。4年度もっとも多かった性的トラブル(67件、16%→30件、8%)は件数、割合ともに減少した。
- 増加した項目は、ネットいじめ(43件、10%→46件、12%)、フィルタリング関係(24件、6%→25件、6%)、取引トラブル(6件、1%→11件、3%)、情報セキュリティ(13件、3%→19件、5%)、個人情報関連(35件、8%→52件、13%)である。
- 性的トラブルが大幅に減少したほか、架空請求(18件、4%→11件、3%)、著作権関連(20件、5%→13件、3%)、依存(50件、12%→43件、11%)、交友関係(49件、11%→33件、9%)、削除方法(17件、4%→13件、3%)、料金関係(29件、7%→8件、2%)など多くの項目が減少した。

※4年度と5年度においてそれぞれもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
5年度 (386件)	11件 (3%)	-	46件 (12%)	2件 (1%)	3件 (1%)	13件 (3%)	43件 (11%)	33件 (9%)	30件 (8%)	13件 (3%)	8件 (2%)	25件 (6%)	11件 (3%)	19件 (5%)	52件 (13%)	18件 (5%)	56件 (15%)	3件 (1%)
4年度 (427件)	18件 (4%)	8件 (2%)	43件 (10%)	6件 (1%)	4件 (1%)	20件 (5%)	50件 (12%)	49件 (11%)	67件 (16%)	17件 (4%)	29件 (7%)	24件 (6%)	6件 (1%)	13件 (3%)	35件 (8%)	4件 (1%)	29件 (7%)	5件 (1%)

6. 相談内容

(7) 高校生にかかる相談・相談者別

- 高校生にかかる相談(244件)の相談者別、相談内容の構成比は下記のとおり。
- 5年度、高校生全体では性的トラブル(37件、15%)の相談がもっとも多かった。

※相談者ごとにもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

5年度 244件

	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
高校生全体 (244件)	5件 (2%)	4件 (2%)	26件 (11%)	4件 (2%)	3件 (1%)	4件 (2%)	25件 (10%)	31件 (13%)	37件 (15%)	9件 (4%)	4件 (2%)	4件 (2%)	9件 (4%)	17件 (7%)	19件 (8%)	9件 (4%)	32件 (13%)	2件 (1%)
高校生本人 (167件)	4件 (2%)	3件 (2%)	19件 (11%)	4件 (2%)	3件 (2%)	4件 (2%)	1件 (1%)	21件 (13%)	34件 (20%)	7件 (4%)	1件 (1%)	1件 (1%)	7件 (4%)	15件 (9%)	19件 (11%)	7件 (4%)	15件 (9%)	2件 (1%)
高校生保護者 (75件)	1件 (1%)	1件 (1%)	6件 (8%)	-	-	-	24件 (32%)	10件 (13%)	3件 (4%)	2件 (3%)	3件 (4%)	3件 (4%)	2件 (3%)	1件 (1%)	-	2件 (3%)	17件 (23%)	-
高校生学校職員 (1件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1件 (100%)	-	-	-	-
高校生職場職員 (0件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高校生その他 (1件)	-	-	1件 (100%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6. 相談内容

(8) 高校生(4年度との比較)

- 5年度の高校生にかかる相談(244件)は、4年度(257件)と比べ約5%減少した。もっとも多かったのは4年度と同様、性的トラブル(56件、22%→37件、15%)だが、件数、割合ともに減少した。
- 増加した項目は主に、ネットいじめ(9件、4%→26件、11%)、交友関係(22件、9%→31件、13%)、取引トラブル(7件、3%→9件、4%)、情報セキュリティ(11件、4%→17件、7%)、個人情報関連(10件、4%→19件、8%)である。
- 性的トラブルが大幅に減少したほか、架空請求(17件、7%→5件、2%)、有害情報(12件、5%→3件、1%)、削除方法(26件、10%→9件、4%)、料金関係(12件、5%→4件、2%)など多くの項目が減少した。

※4年度と5年度においてそれぞれもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

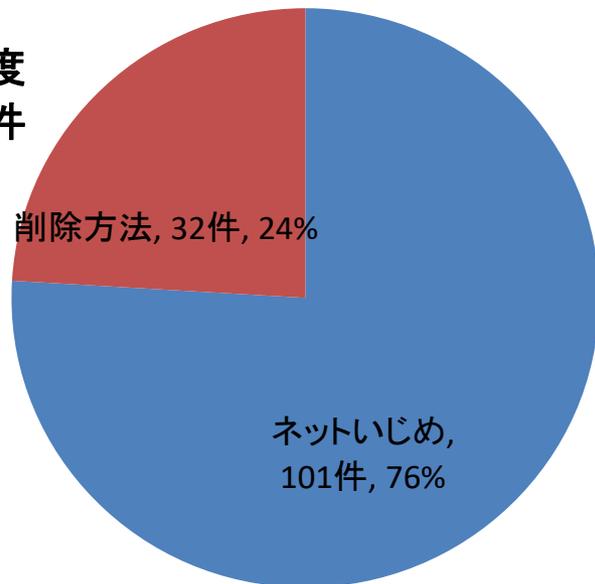
	架空請求	シヨツピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
5年度 (244件)	5件 (2%)	4件 (2%)	26件 (11%)	4件 (2%)	3件 (1%)	4件 (2%)	25件 (10%)	31件 (13%)	37件 (15%)	9件 (4%)	4件 (2%)	4件 (2%)	9件 (4%)	17件 (7%)	19件 (8%)	9件 (4%)	32件 (13%)	2件 (1%)
4年度 (257件)	17件 (7%)	-	9件 (4%)	-	12件 (5%)	3件 (1%)	26件 (10%)	22件 (9%)	56件 (22%)	26件 (10%)	12件 (5%)	3件 (1%)	7件 (3%)	11件 (4%)	10件 (4%)	4件 (2%)	31件 (12%)	6件 (2%)

7. 主な相談の概要

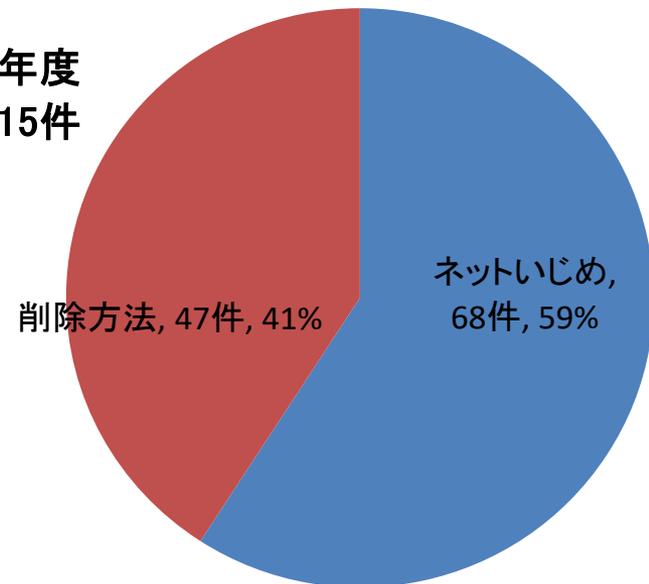
- (1) ネット上の書き込みトラブル(ネットいじめ、削除方法)
 (ア) 青少年にかかる相談・内容別(4年度との比較)

- ネットいじめ(68件、59%→101件、76%)は、件数、割合ともに増加した。削除方法(47件、41%→32件、24%)は、件数、割合ともに減少した。
- ブログやSNSなどインターネット利用者が情報を発信、構築していくサービスは青少年にも人気であるが、安易に情報を発信してしまった結果、何らかのトラブルになる相談が後を絶たない。

5年度
133件



4年度
115件



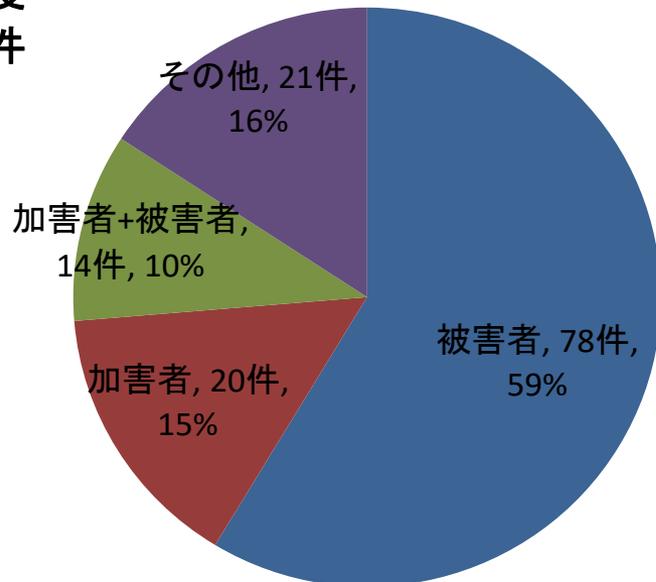
7. 主な相談の概要

(1) ネット上の書き込みトラブル(ネットいじめ、削除方法)

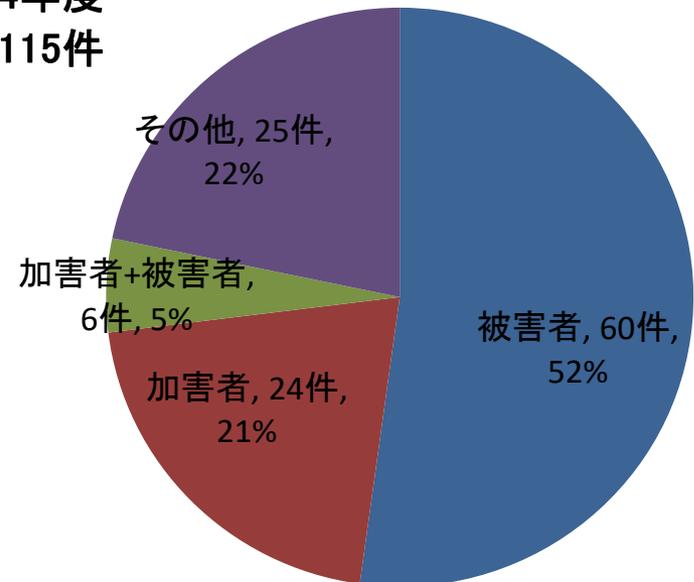
(イ) 青少年にかかる相談・相談者の加害者・被害者別(4年度との比較)

- 5年度(133件)のネット上の書き込みトラブル相談では、被害者(78件、59%)からの相談がもっとも多く、次いでその他(21件、16%)、加害者(20件、15%)、加害者+被害者(14件、10%)となった。
- 4年度(115件)との比較では、被害者からの相談(60件、52%→78件、59%)、加害者+被害者(6件、5%→14件、10%)が件数、割合ともに増加し、加害者からの相談(24件、21%→20件、15%)、その他(25件、22%→21件、16%)が件数、割合ともに減少している。
- その他に分類されているものについては、自分で書き込んだ(作成した)ものを削除したいという内容がほとんどであり、個人が特定できそうな情報のほか、単純な文字だけの投稿など内容は様々であった。

5年度
133件



4年度
115件

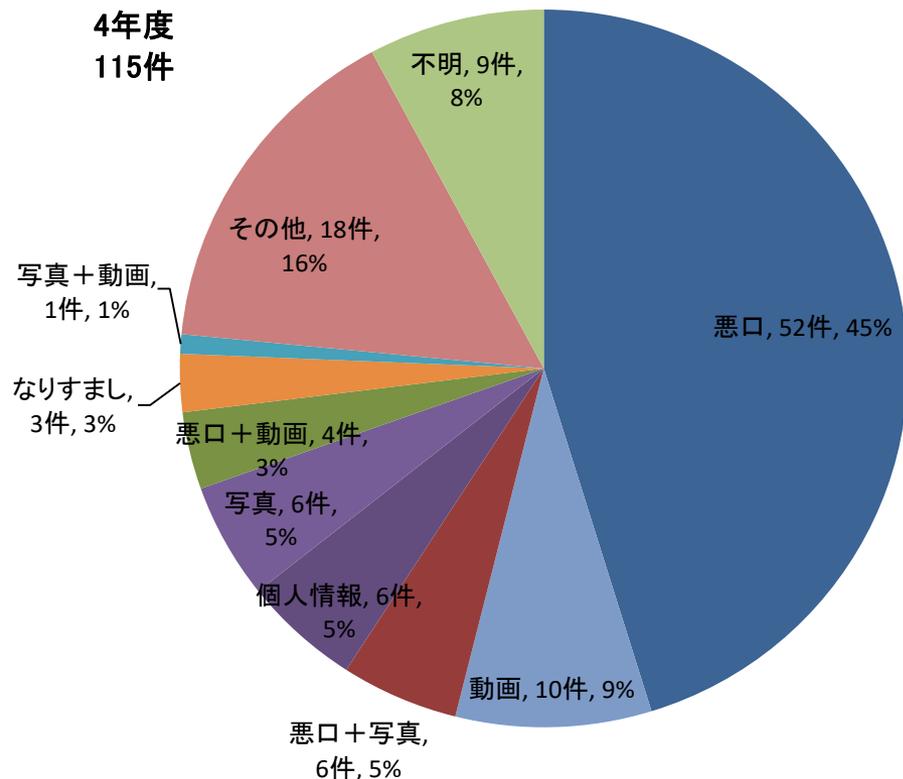
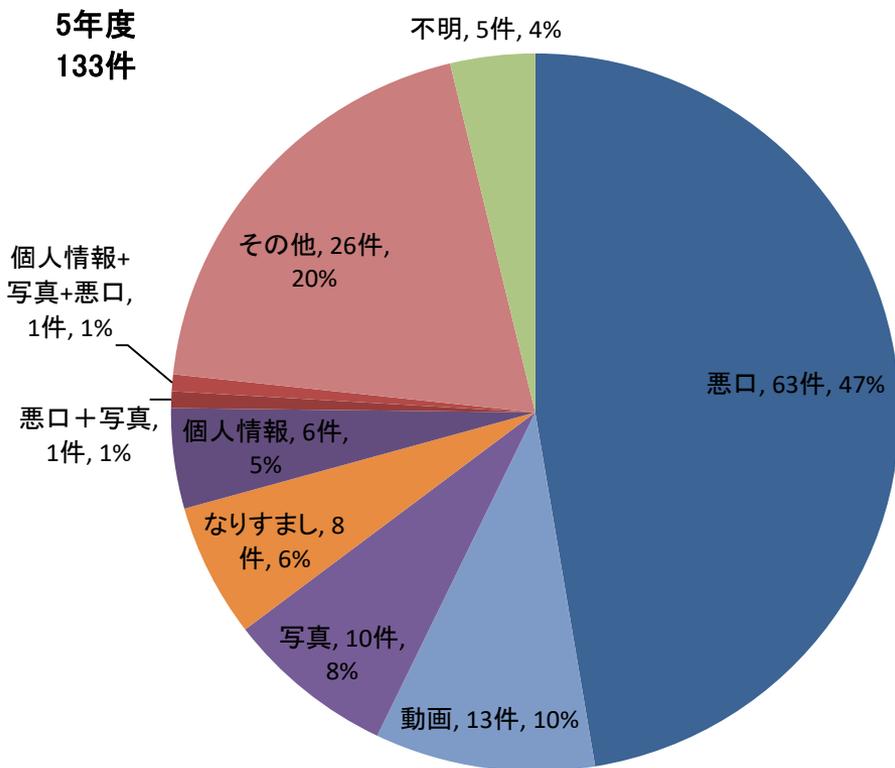


7. 主な相談の概要

(1) ネット上の書き込みトラブル(ネットいじめ、削除方法)

(ウ) 青少年にかかる相談・書き込み内容別(4年度との比較)

- 5年度の青少年のネット上の書き込みトラブル(133件)において書き込みの内容を分類したところ、もっとも多かったのは、4年度同様に悪口(63件、47%)で約半数を占めた。
- 4年度(115件)との比較では、悪口+写真(6件、5%→1件、1%)、悪口+動画(4件、3%→0件、0%)、写真+動画(1件、1%→0件、0%)が減少し、悪口(52件、45%→63件、47%)、動画(10件、9%→13件、10%)、写真(6件、5%→10件、8%)、なりすまし(3件、3%→8件、6%)、個人情報+写真+悪口(0件、0%→1件、1%)が増加している。



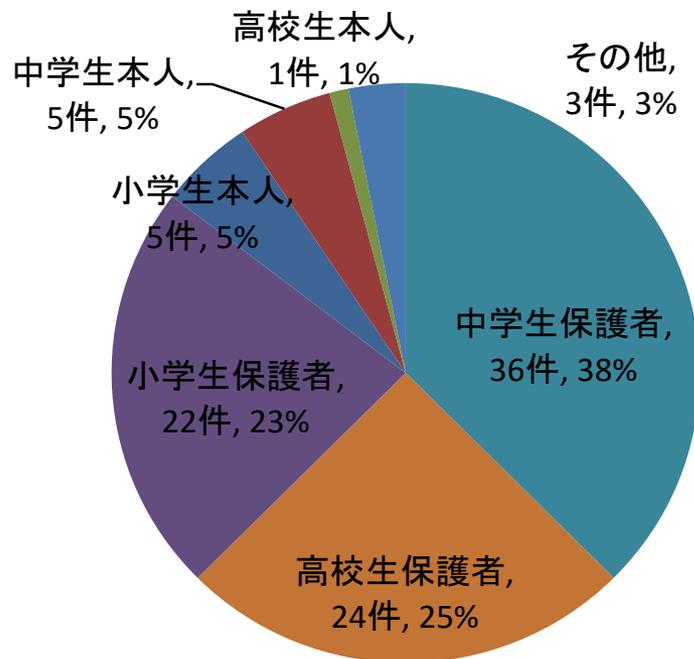
7. 主な相談の概要

(2) 依存

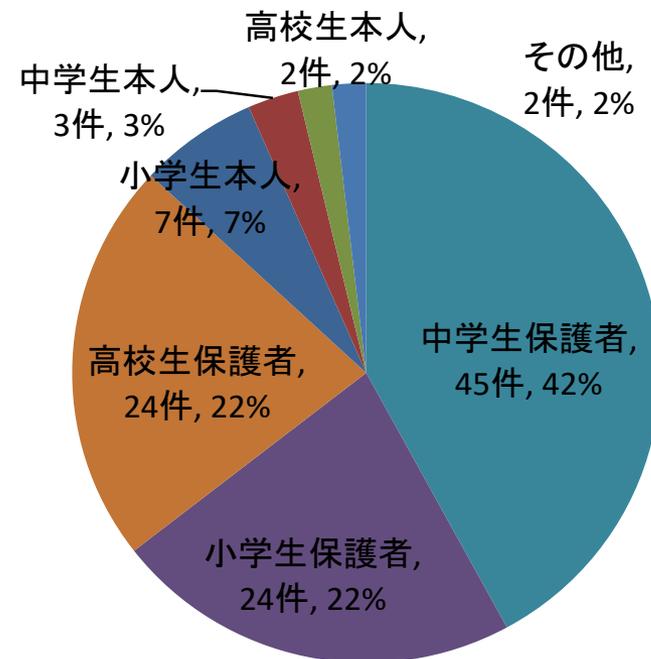
(ア) 青少年にかかる相談・相談者別(4年度との比較)

- 5年度の青少年にかかる依存の相談(96件)は、4年度(107件)と比較すると減少した。
- もっとも多いのが4年度同様に中学生保護者(36件、38%)からの相談であった。
- 5年度の相談のうち、青少年本人からの相談が11件、保護者等からの相談が82件、その他3件となっている。本人以外からの相談が多いのが依存の特徴であり、生活習慣の乱れ、学力の低下、不登校や暴力など、家族が精神的な苦しみを訴える相談が多い。
- 4年度との比較では大きな変化は見られない。

5年度
96件



4年度
107件



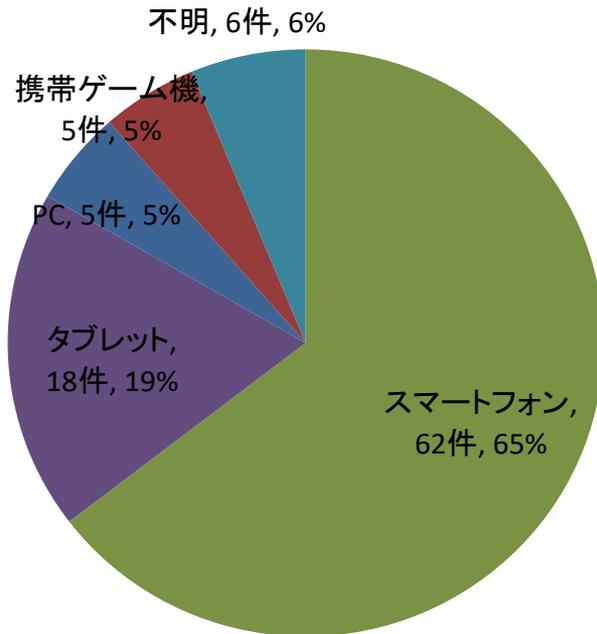
7. 主な相談の概要

(2) 依存

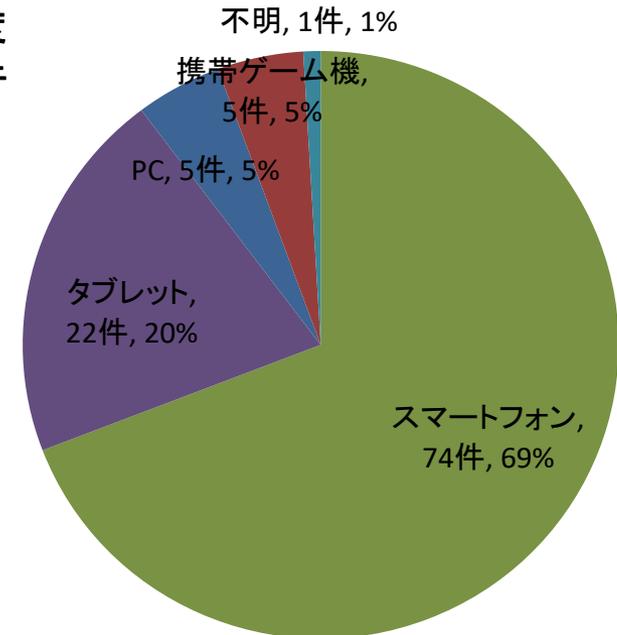
(イ) 青少年にかかる相談・依存している端末別(4年度との比較)

- 依存にかかる端末は、スマートフォン(62件、65%)がもっとも多い。
- 4年度と比較すると、スマートフォン(74件、69%→62件、65%)、タブレット(22件、20%→18件、19%)が件数、割合ともに減少している。
- それぞれの端末に備わっている機能は進化し、通信環境も多様化しているため、インターネットに接続できる機器であるならば、利用する青少年の年齢や経験値、生活習慣に合うように機能を制限するなど工夫が必要であり、自室に1人で自由に利用させないようにすることも依存を防ぐ大事なポイントである。

5年度
96件



4年度
107件

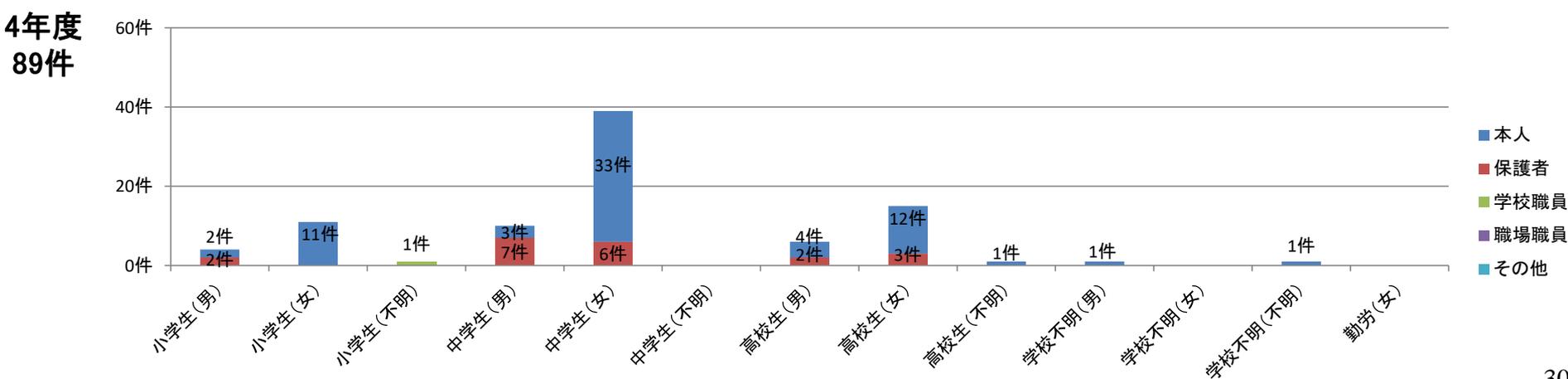
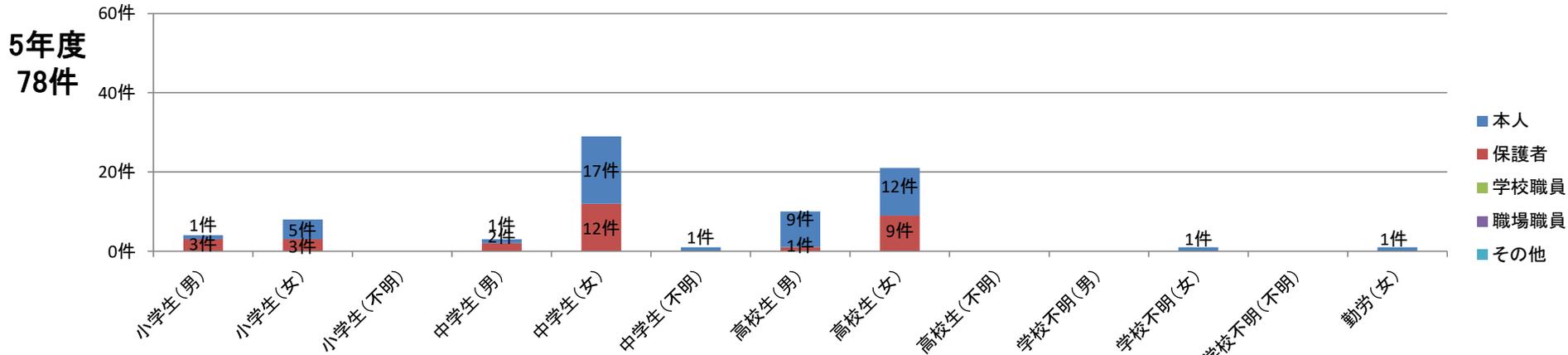


7. 主な相談の概要

(3) 交友関係

(ア) 青少年にかかる相談・当事者別/相談者別(4年度との比較)

- 5年度の青少年にかかる交友関係の相談は78件であった。
- 4年度(89件)同様に当事者は中学生女子(29件)がもっとも多く、次いで高校生女子(21件)であった。
- 男女別比較でも4年度同様に、男子(17件)より圧倒的に女子(60件)が多い。
- 4年度との比較では、ほとんどが減少している中、高校生女子(15件→21件)が増加している。



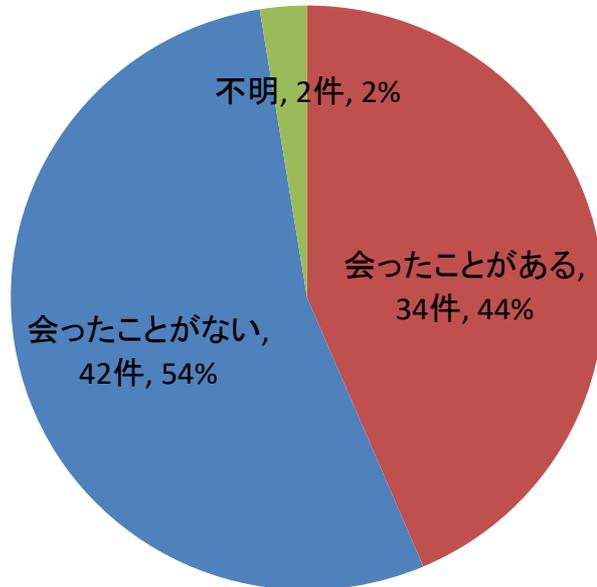
7. 主な相談の概要

(3) 交友関係

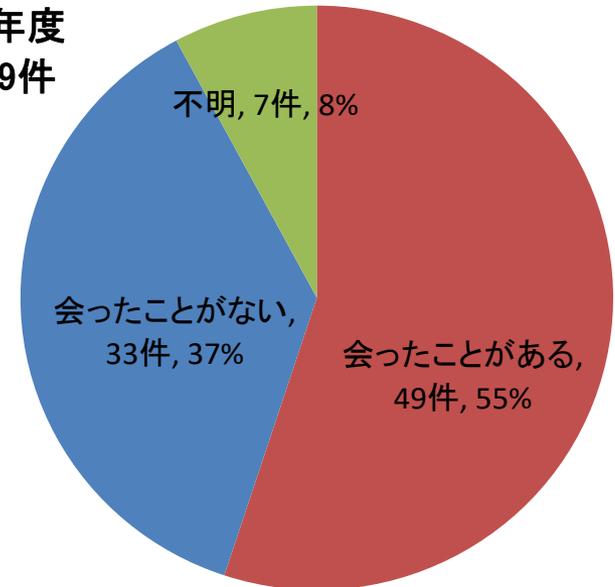
(イ) 青少年にかかる相談・相手と実際に会ったか(4年度との比較)

- 青少年にかかる交友関係(78件)のうち、実際に「相手と会ったことがある」は、34件、44%であった。学校での友人関係も含まれており割合が高くなっている。
- 4年度(89件)との比較では、「相手と会ったことがある」(49件、55%→34件、44%)は、件数、割合ともに減少、「相手と会ったことがない」(33件、37%→42件、54%)が、件数、割合ともに増加している。
- 文字だけのコミュニケーションは意思疎通が難しいが、短文、短時間での返信を急ぐ結果、正しい言葉を選ぶ余裕がなくなり、誤解を招いてしまい、相手との関係性に悩んで相談するケースが多いと考えられる。

5年度
78件



4年度
89件



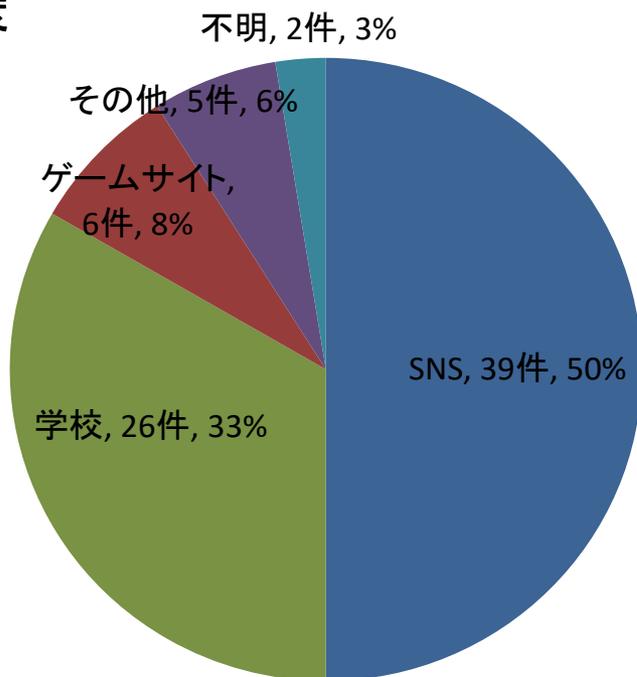
7. 主な相談の概要

(3) 交友関係

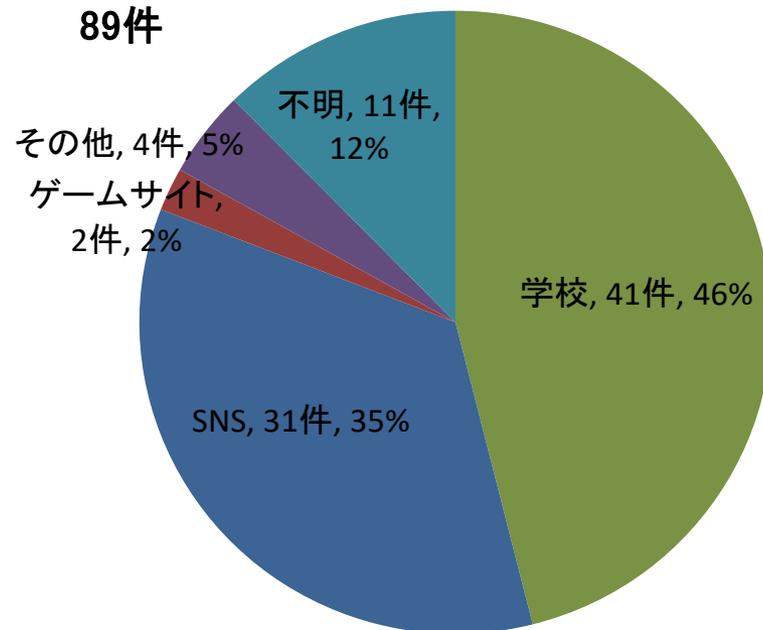
(ウ) 青少年にかかる相談・知り合ったきっかけ(4年度との比較)

- 青少年にかかる交友関係(78件)において、知り合ったきっかけは、SNS(39件、50%)がもっとも多く、次に学校(26件、33%)であった。
- 4年度との比較では、SNS(31件、35%→39件、50%)、ゲームサイト(2件、2%→6件、8%)の件数、割合が増加し、学校(41件、46%→26件、33%)の件数、割合が減少している。
- 対面でのコミュニケーションが可能である学校の友人関係は解決の手段が複数あるが、インターネット上だけの関係であれば、解決が困難な例も多い。

5年度
78件



4年度
89件



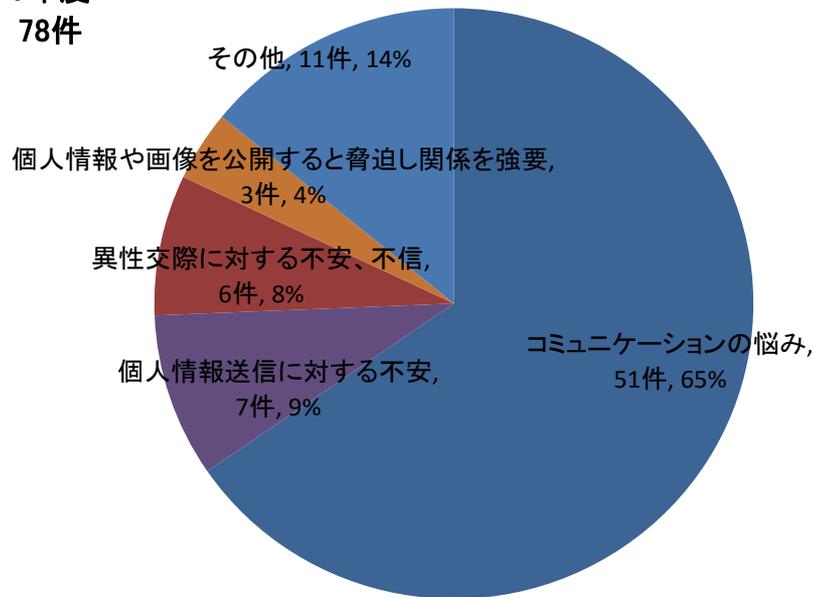
7. 主な相談の概要

(3) 交友関係

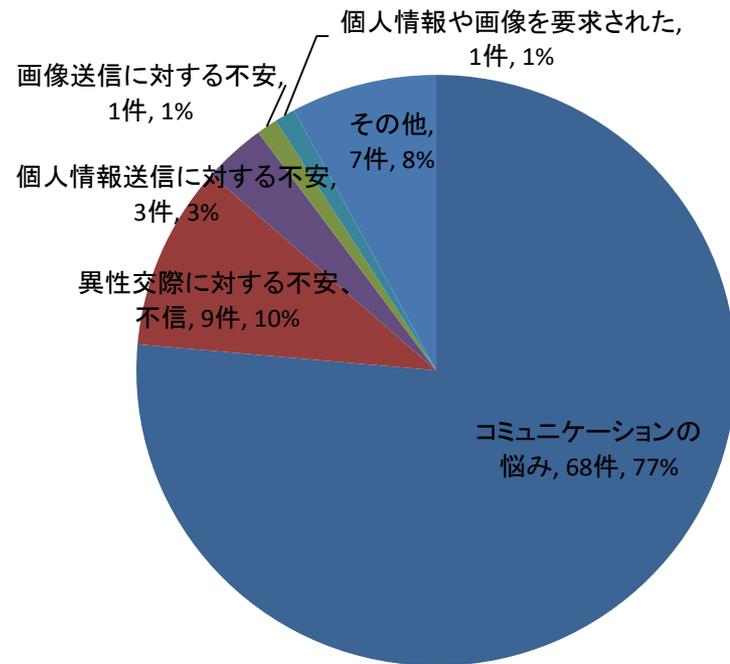
(エ) 青少年にかかる相談・トラブルの内容(4年度との比較)

- 青少年にかかる交友関係(78件)の内容別は、コミュニケーションの悩み(51件、65%)が半数以上を占め、次に、個人情報送信に対する不安(7件、9%)となった。
- 4年度(89件)との比較では、コミュニケーションの悩み(68件、77%→51件、65%)、異性交際に対する不安、不信(9件、10%→6件、8%)、画像送信に対する不安(1件、1%→0件、0%)の件数、割合が減少し、個人情報送信に対する不安(3件、3%→7件、9%)、個人情報や画像を公開すると脅迫し関係を強要(0件、0%→3件、4%)が増加した。
- その他については、自傷行為をするネット上の友人にどう接すればいいか等の相談であった。

5年度
78件



4年度
89件

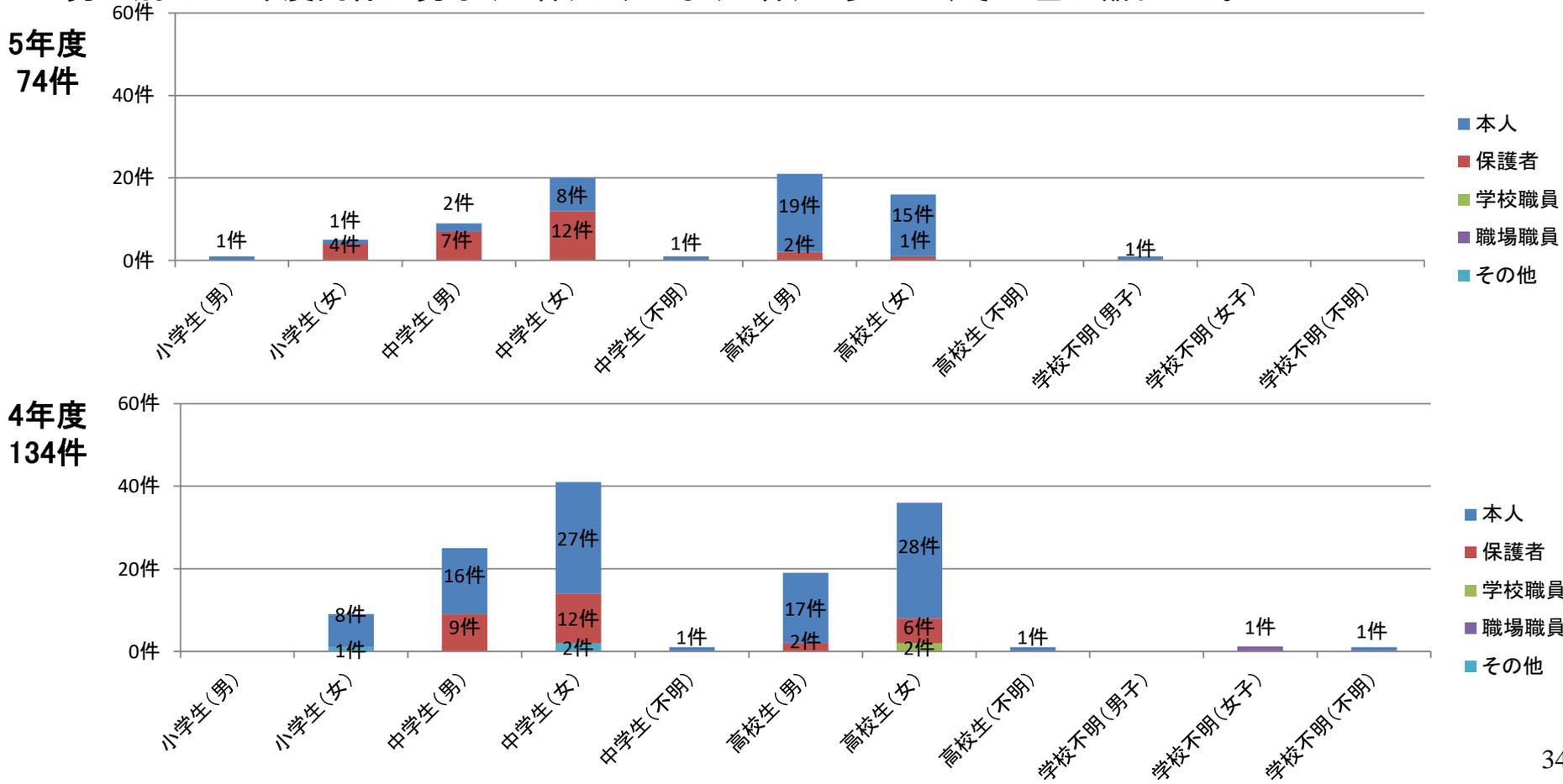


7. 主な相談の概要

(4) 性的トラブル

(ア) 青少年にかかる相談・当事者別/相談者別(4年度との比較)

- 5年度の青少年にかかる性的トラブルは74件であった。
- 当事者は高校生男子(21件)がもっとも多く、次いで中学生女子(20件)であった。
- 4年度との比較では相談件数が約半減した。
- ほとんどの学年で減少しているが、小学生男子(0件→1件)、高校生男子(19件→21件)、学校不明男子(0件→1件)は増加している。
- 男女別では4年度同様に男子(32件)より女子(41件)が多いが、その差は縮まった。

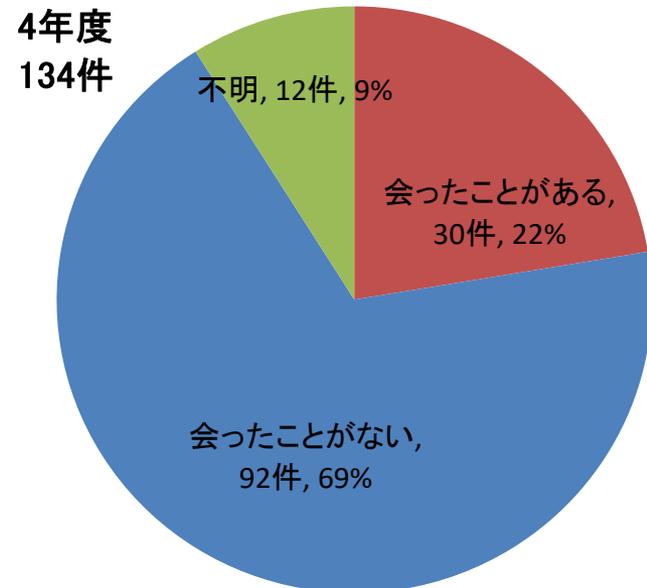
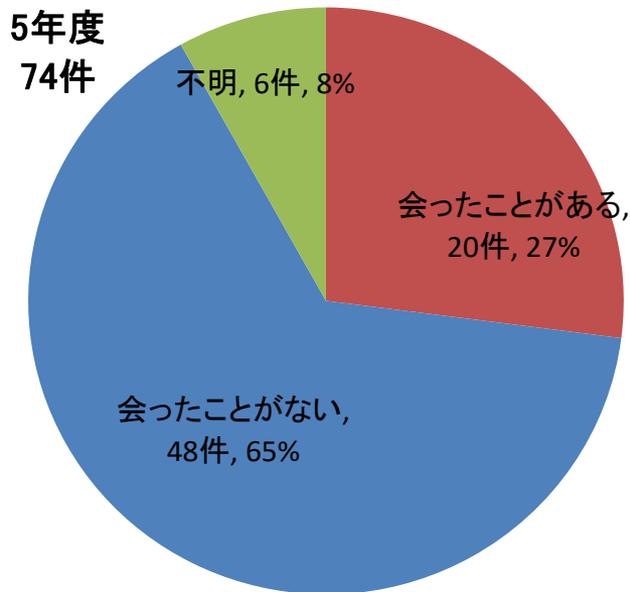


7. 主な相談の概要

(4) 性的トラブル

(イ) 青少年にかかる相談・相手と実際に会ったか(4年度との比較)

- 青少年にかかる性的トラブルの相談(74件)のうち、実際に「相手と会ったことがある」は、20件、27%であった。
- 4年度との比較では、「相手と会ったことがある」(30件、22%→20件、27%)は、件数は減少、割合は増加し、「相手と会ったことがない」(92件、69%→48件、65%)は、件数、割合ともに減少した。
- 出会いを求めるようなアプリに限らず、インターネットでは気の合う相手を安易に見つけることができ、気軽にコミュニケーションを取ることができる反面、相手は性的な相手を求めている場合もある。

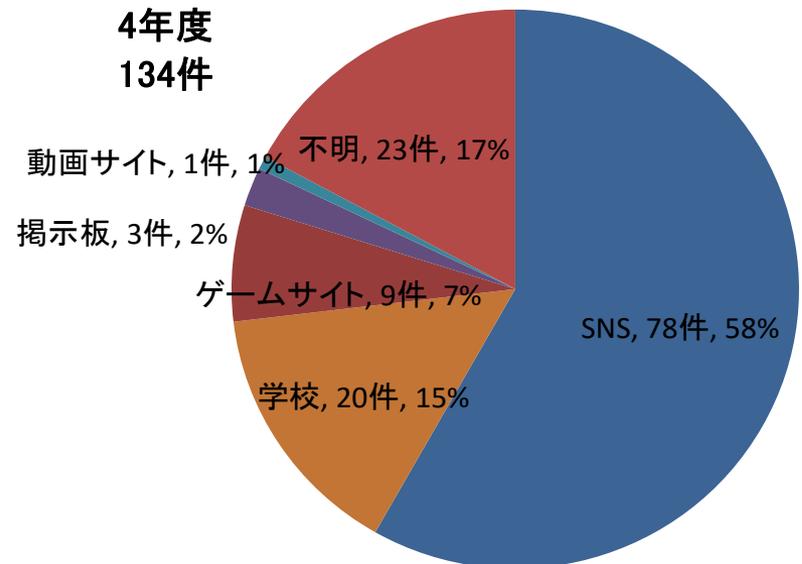
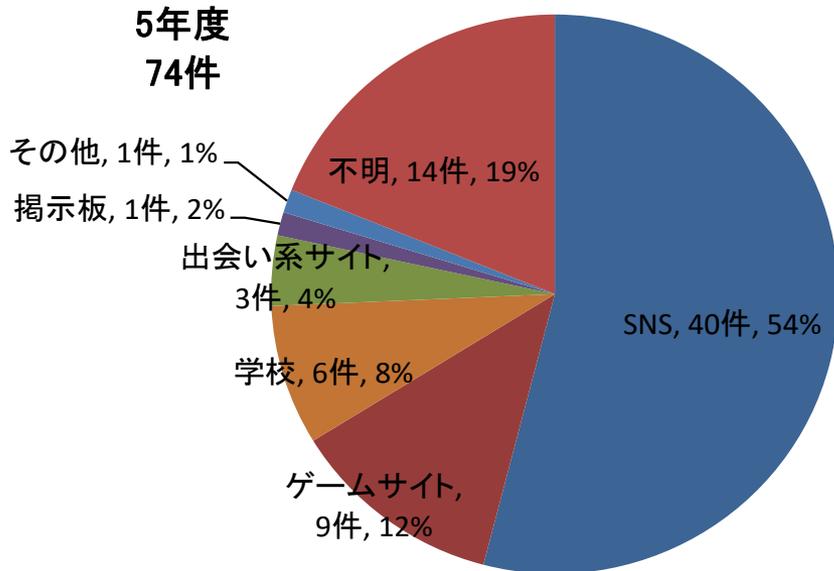


7. 主な相談の概要

(4) 性的トラブル

(ウ) 青少年にかかる相談・知り合ったきっかけ(4年度との比較)

- 青少年の性的トラブルの相談(74件)において、知り合ったきっかけは、4年度同様にSNS(40件、54%)がもっとも多かった。
- 4年度との比較では、知り合ったきっかけが、出会い系サイト(0件、0%→3件、4%)が増加している。
- 学校(20件、15%→6件、8%)は大幅に減少している。

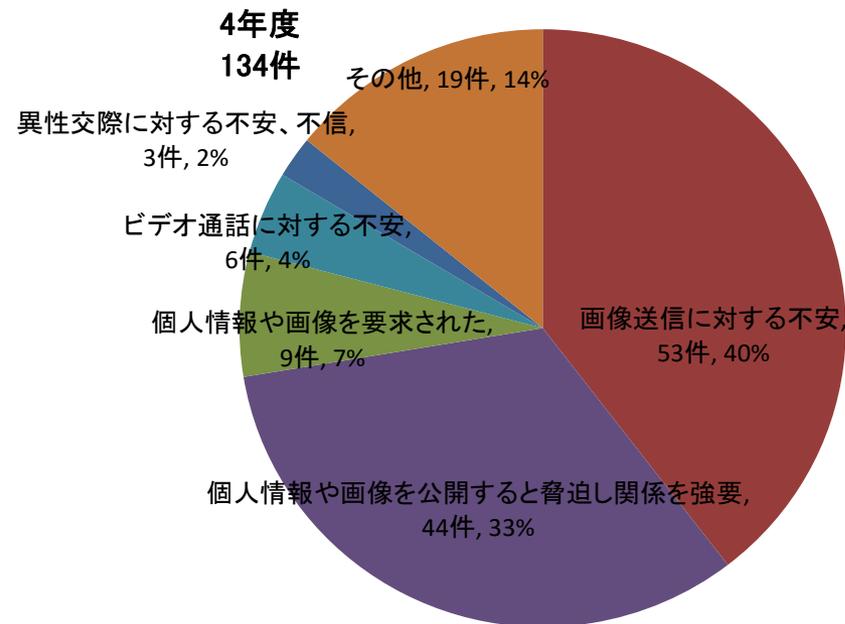
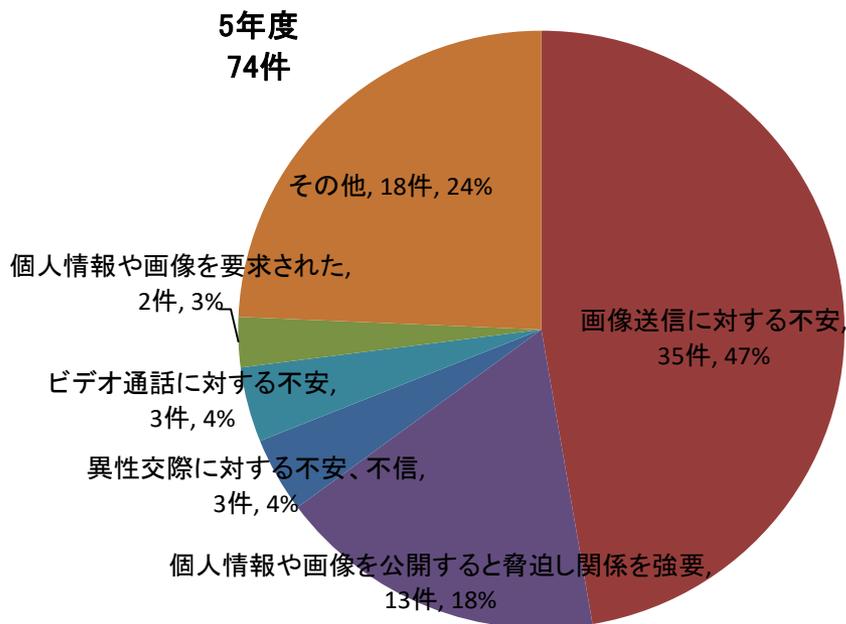


7. 主な相談の概要

(4) 性的トラブル

(エ) 青少年にかかる相談・トラブルの内容(4年度との比較)

- 5年度の青少年にかかる性的トラブル(74件)を内容別に見ると、4年度同様に画像送信に対する不安(35件、47%)がもっとも多く、次に個人情報や画像を公開すると脅迫し関係を強要(13件、18%)となった。
- 4年度との比較では、個人情報や画像を公開すると脅迫し関係を強要(44件、33%→13件、18%)が大幅に減少した。
- その他のトラブルの具体例としては、性的な画像を求めた、一方的に性的画像を送りつけられた等であった。

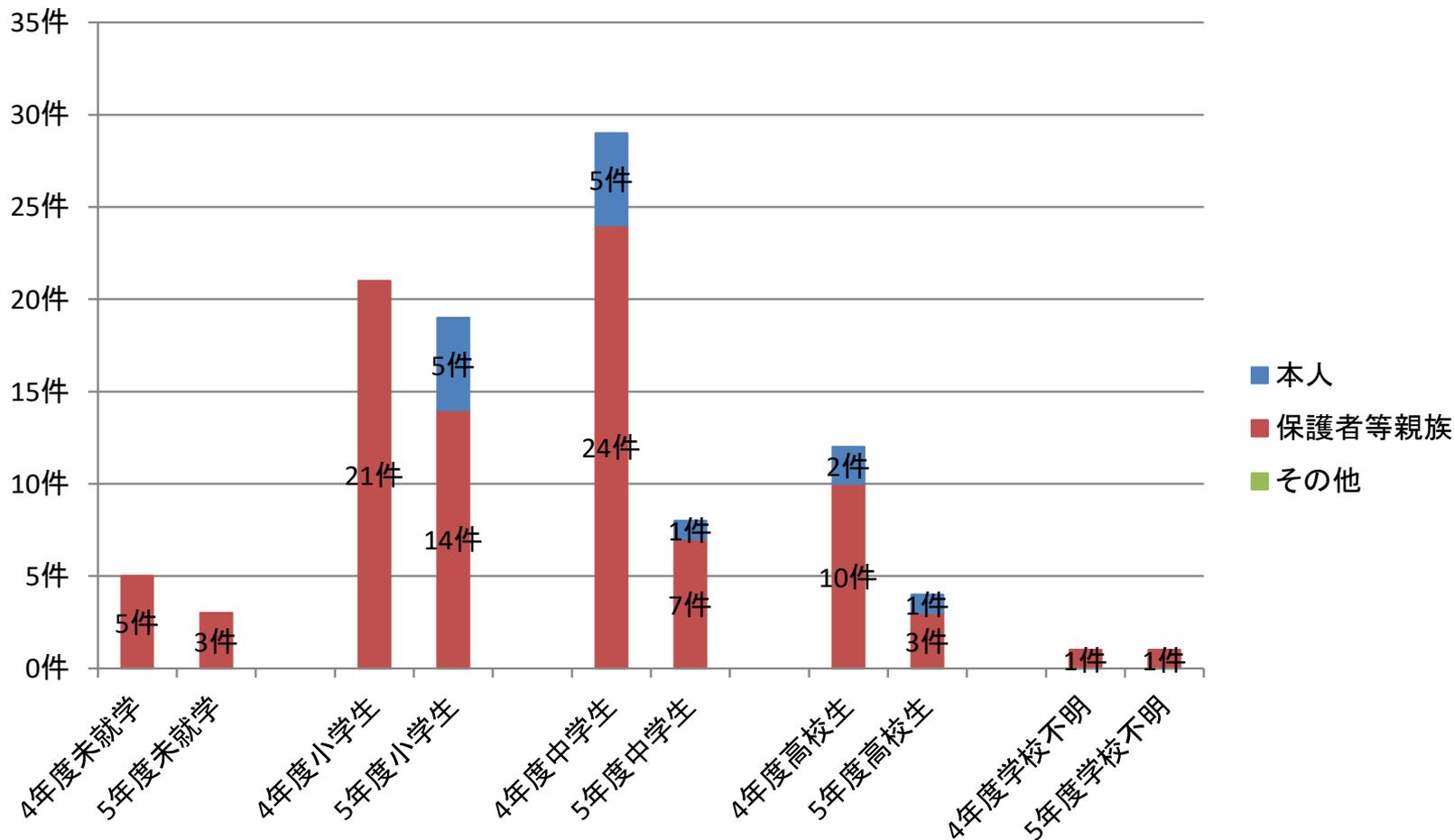


7. 主な相談の概要

(5) 料金関係

(ア) 青少年にかかる相談・相談者別(4年度との比較)

- 5年度(35件)と4年度(68件)の比較では、学校不明を除き、全ての学齢で減少している。
- 青少年本人からの相談件数(7件)に比べ、保護者等からの相談件数(28件)が圧倒的に多いのが特徴である。
- クレジットカード決済、キャリア決済(携帯電話料金と合算して請求)等で知るケースも多く、利用してから時間が経過して発覚する相談が多い。

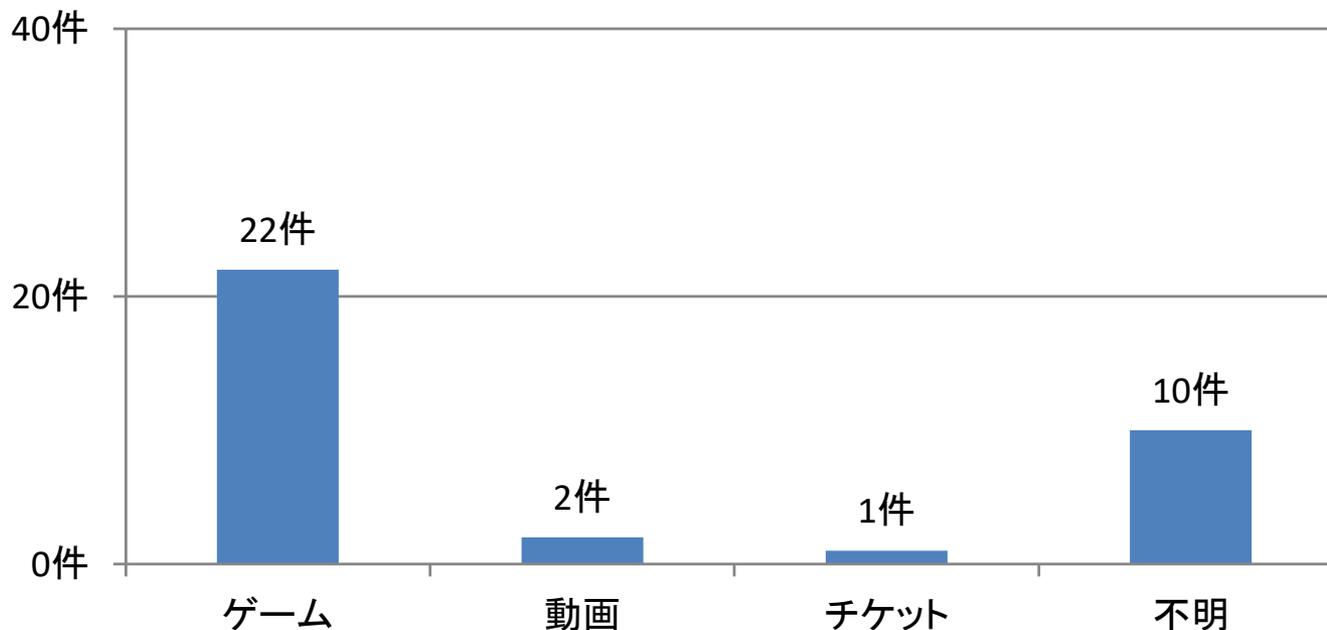


7. 主な相談の概要

(5) 料金関係

(イ) 青少年にかかる相談・課金をしているサービス

- 課金をしたサービスは、ゲーム(22件)が圧倒的に多い。
- 青少年本人が課金をしていることを理解をせずに、利用し続けているケースもある。
- ゲーム内の通貨＝円通貨とは限らないことも多く、実際いくらのか課金をしているのか理解ができていないケースもある。

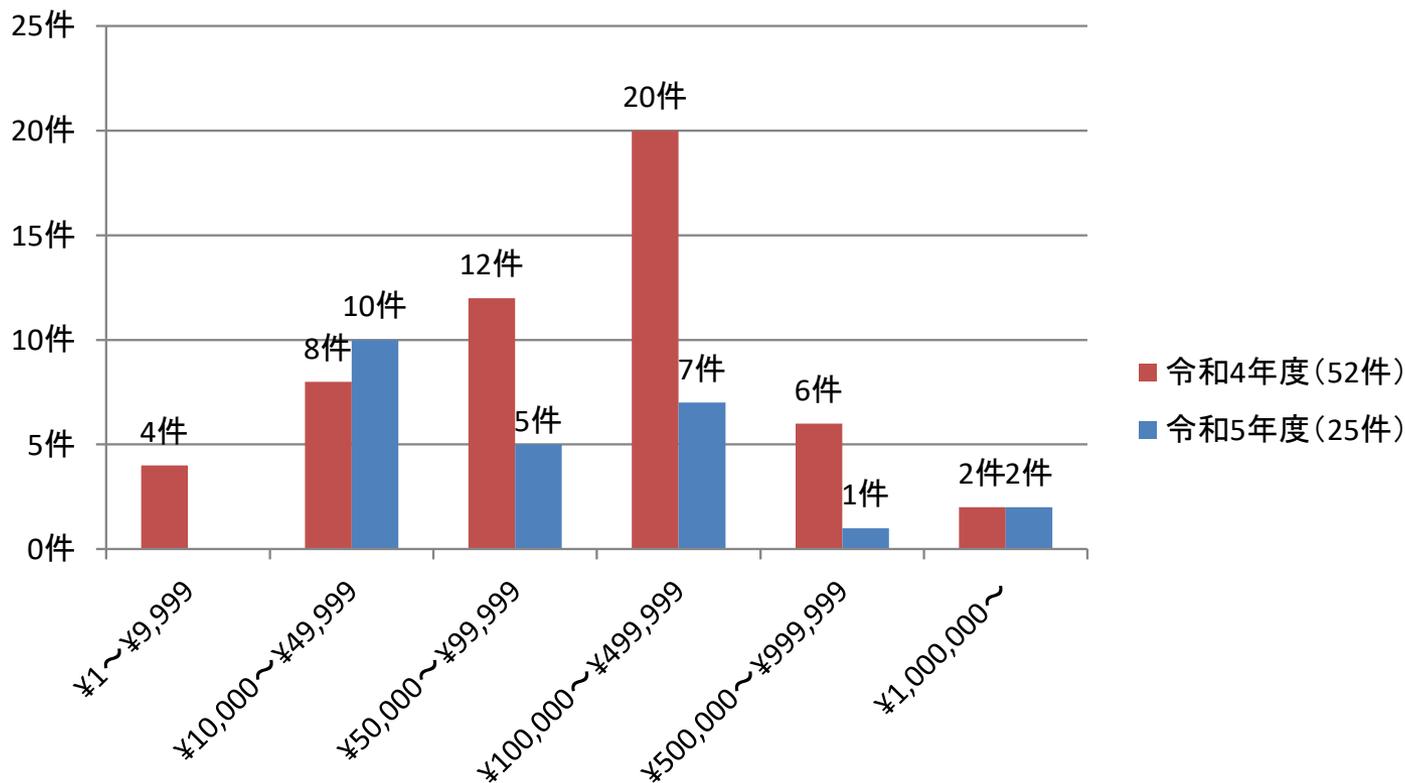


7. 主な相談の概要

(5) 料金関係

(ウ) 青少年にかかる相談・課金額別件数(4年度との比較)

- 青少年にかかる相談のうち、課金額の確認ができた相談(25件)の中で、もっとも件数の多かった課金額は、10,000円～49,999円であった。
- 4年度との比較では50,000円以上課金をしたケースが減少しているが、1,000,000円以上課金をしたケースは減少していない。
- 民法の「未成年者取消権」が全てのケースで認められるとは限らないことから、課金の上限額を定め、未成年者がお金を使い過ぎるのを防ぐ仕組みを設けているゲームもあるため、利用するアカウントは正しい年齢での設定をしたり、機器側の機能制限によってアプリ内課金を防ぐ等、機械的に防ぐ方法もあるので課金の制限をしてほしい。

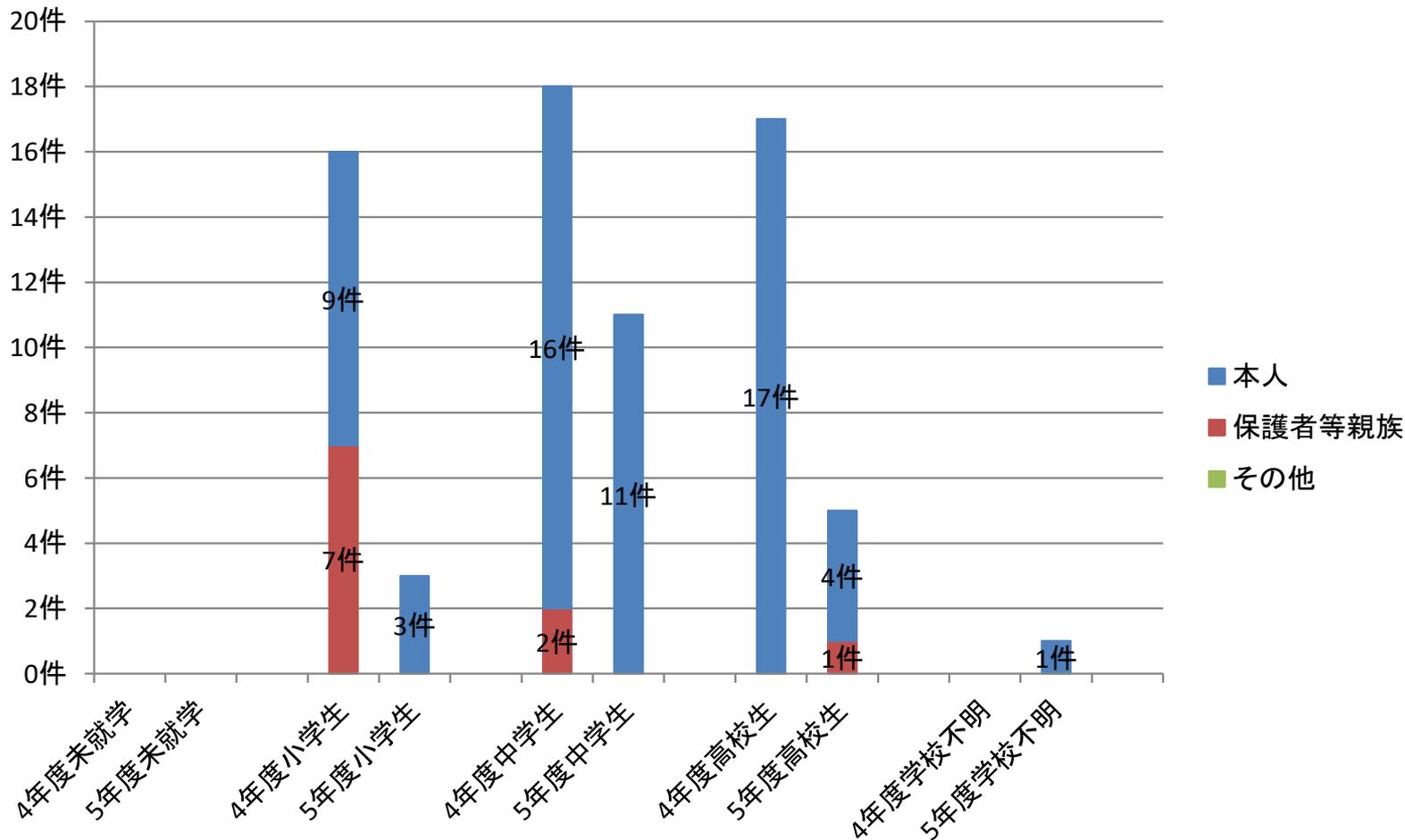


7. 主な相談の概要

(6) 架空請求

(7) 青少年にかかる相談・学識別/相談者別(4年度との比較)

- 5年度(20件)と4年度(51件)の比較では、全ての学識で減少している。
- 青少年本人からの相談が多いのが架空請求の特徴であり、アダルトサイトを閲覧してのトラブルが多い。小学生、中学生は100%、高校生は80%が本人からの相談であった。親には相談できない、知られたくないと話す青少年が多くいる。

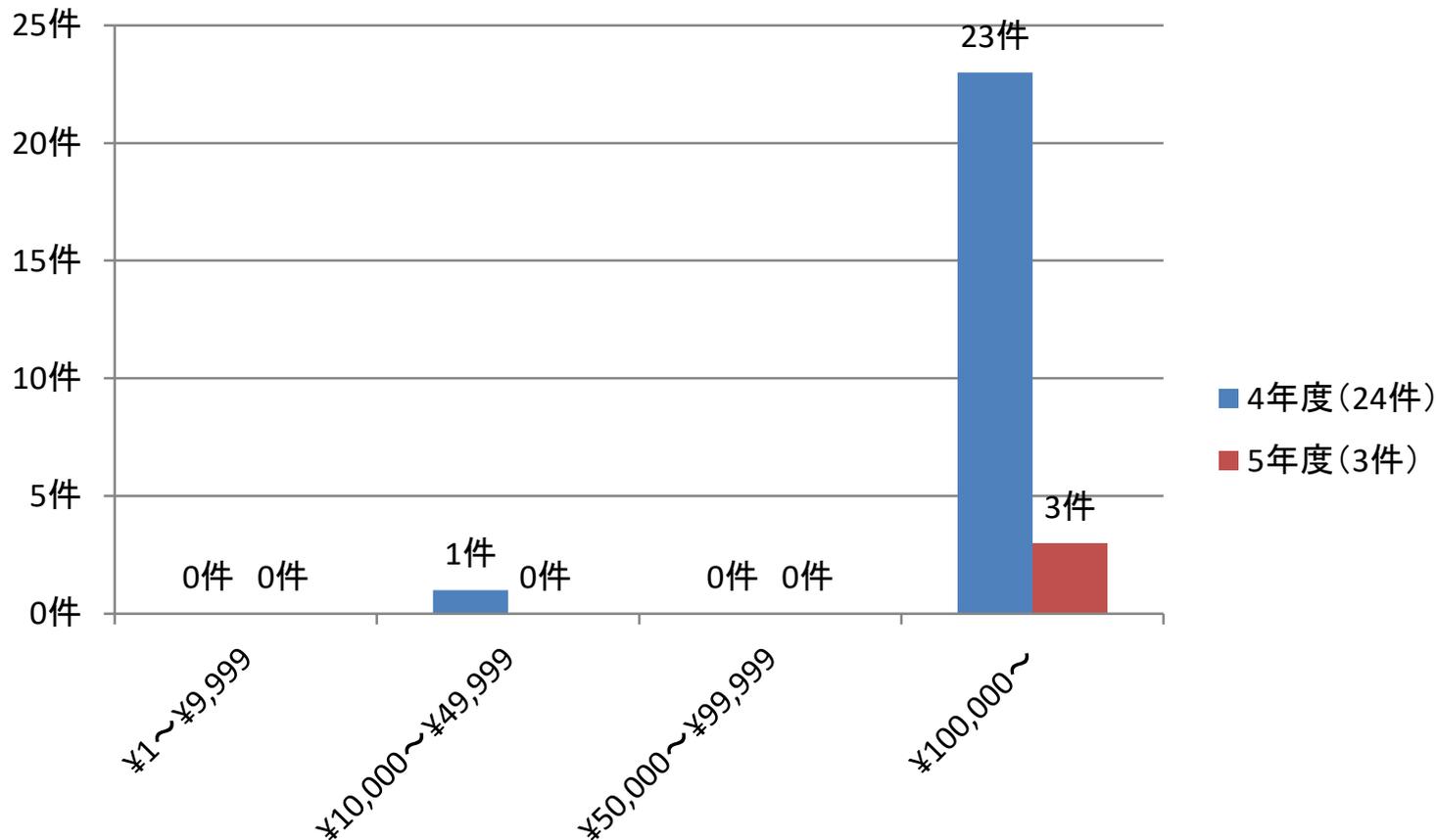


7. 主な相談の概要

(6) 架空請求

(イ) 青少年にかかる相談・請求金額別件数(4年度との比較)

- 青少年にかかる相談のうち、請求された金額の聞き取りができた相談のうち、5年度(3件)は、4年度(24件)同様に100,000円以上請求された相談が多かった。
- 支払いの期限が数日、数時間と限定され、払わなければもっと高額になると書かれているサイトも多く、考える隙を与えないよう利用者を焦らせる手口と思われる。
- 少額を請求された相談は4年度同様に少ない。

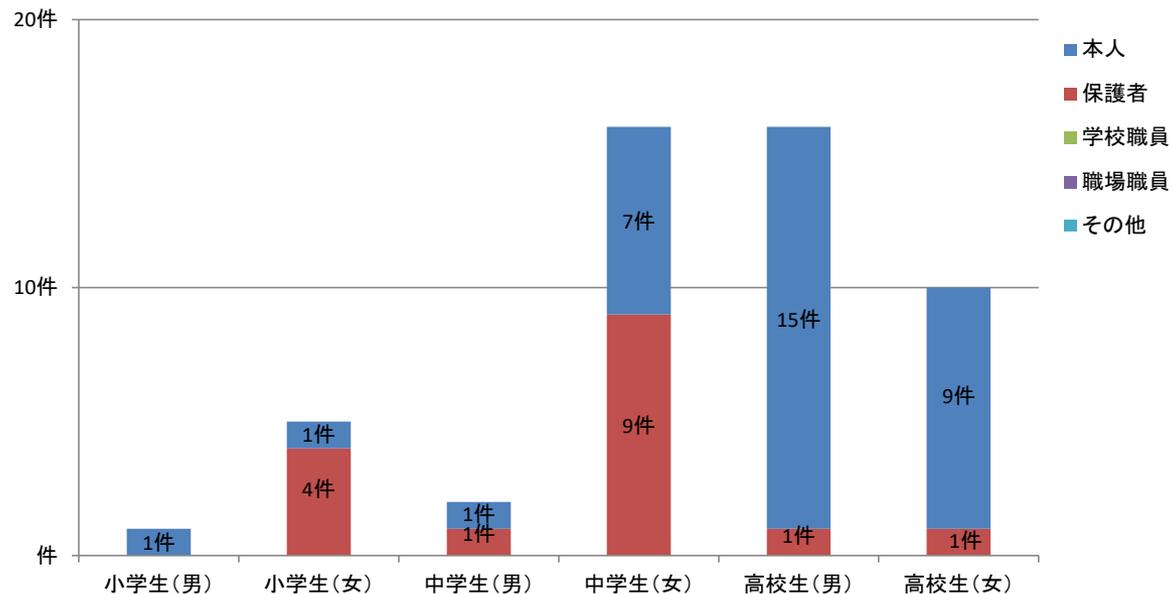
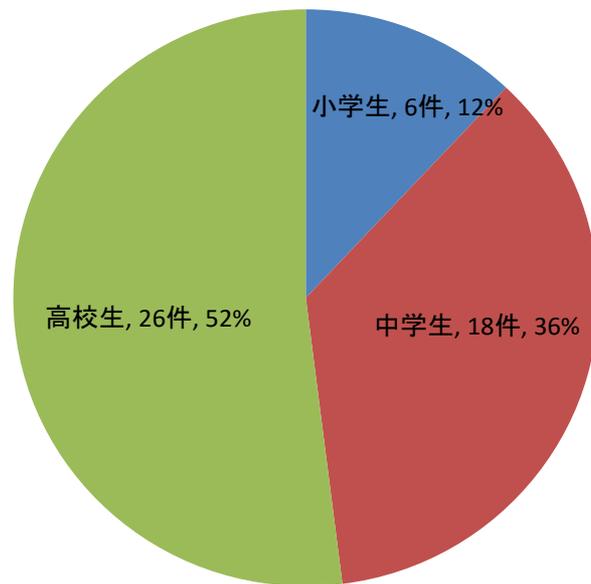


7. 主な相談の概要

(7) 自画撮り被害

(ア) 青少年にかかる相談・相談者別、男女別件数

- 青少年にかかる相談(880件)のうち、青少年自身の性的な自画撮り画像・映像に関する相談は50件。
- トラブルにあった当事者のうちもっとも多かったのは高校生(26件、52%)、次いで中学生(18件、36%)、小学生(6件、12%)であった。
- 相談者別・男女別では、高校生男子本人からがもっとも多く(15件)、次いで中学生女子の保護者から(9件)、高校生女子本人から(9件)であった。

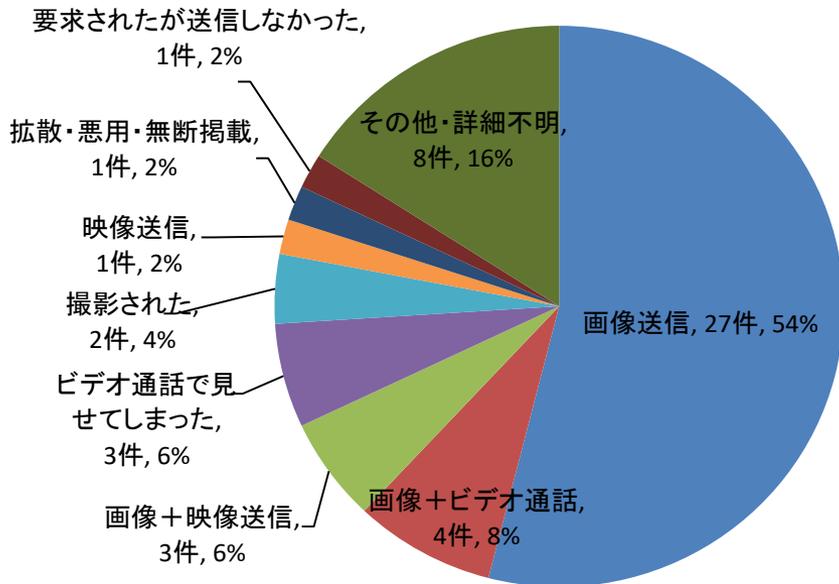


7. 主な相談の概要

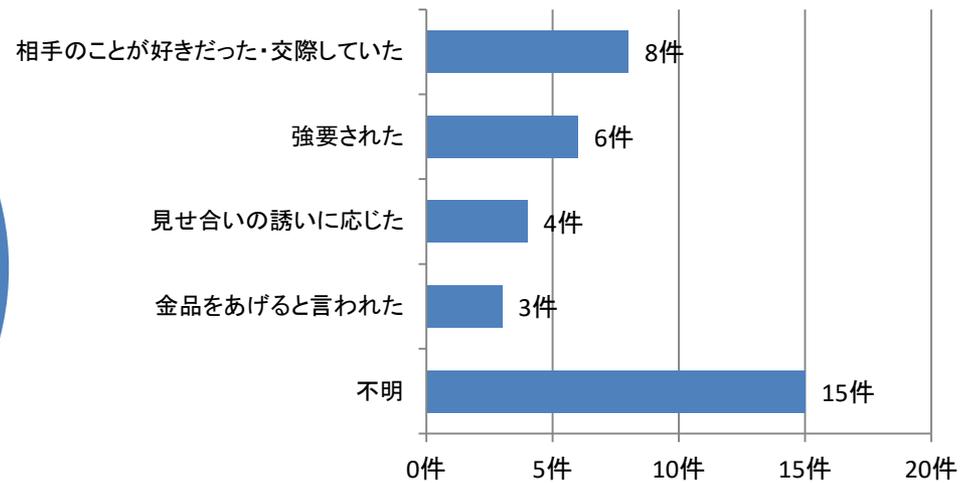
(7) 自画撮り被害

(イ) 青少年にかかる相談・相談内容

- 青少年の自画撮り被害(50件)のうちもっとも多い内容は、画像送信(27件、54%)。次いで、画像+ビデオ通話(4件、8%)、画像+映像送信(3件、6%)、ビデオ通話で見せてしまった(3件、6%)となった。
- 実際に自画撮りを送信している相談(画像送信、映像送信、画像+映像送信、画像+ビデオ通話)は35件。このうち、送信してしまった理由としてもっとも多かったのは「相手のことが好きだった・交際していた」(8件)であった。次いで、「強要された」(6件)であった。



送ってしまった理由

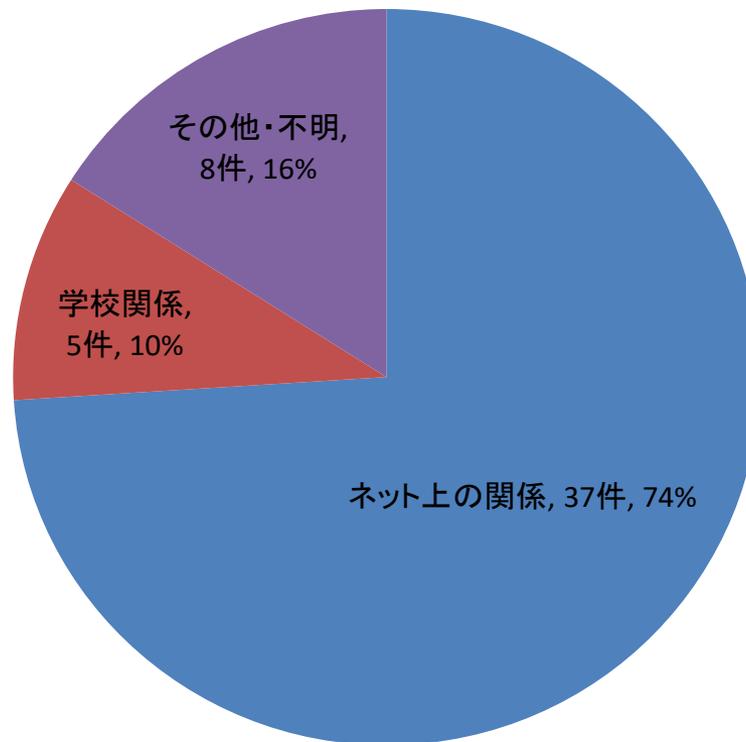


7. 主な相談の概要

(7) 自画撮り被害

(ウ) 青少年にかかる相談・トラブルの相手

- 青少年の自画撮り被害(50件)の相手は、インターネットで知り合った相手(37件、74%)がもっとも多い。
- トラブルの相手は、学校関係や塾の知り合いなど、身近な相手との間にも起きている。相手が誰であっても自分自身の性的な画像や映像を送らないこと、撮影しないこと、撮影させないことが大事である。

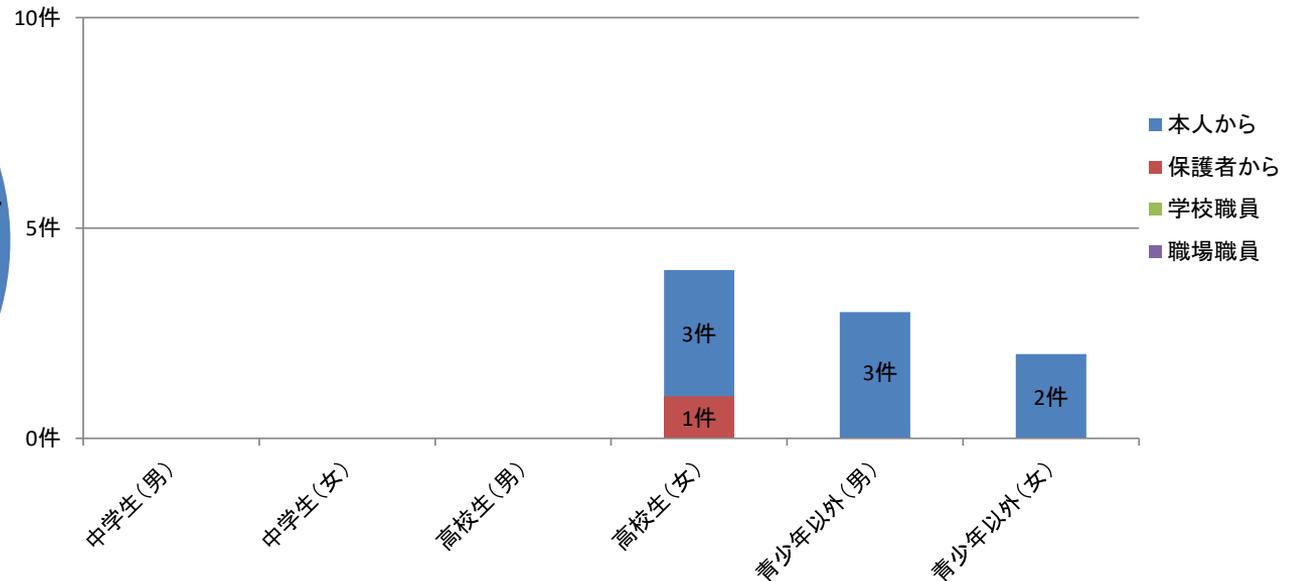
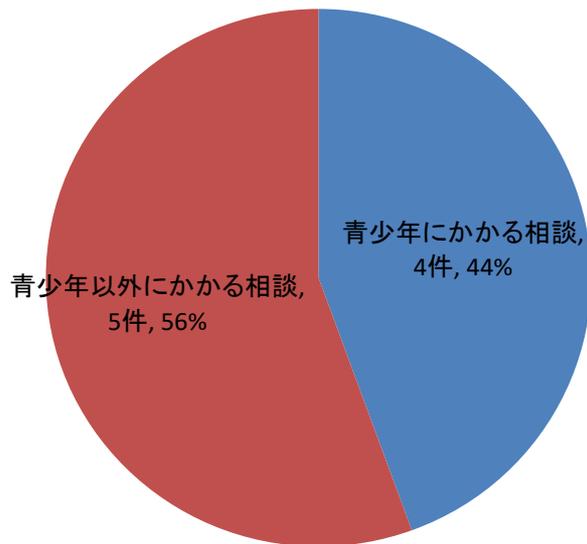


7. 主な相談の概要

(8) パパ活トラブル

(ア) 相談者別、男女別件数

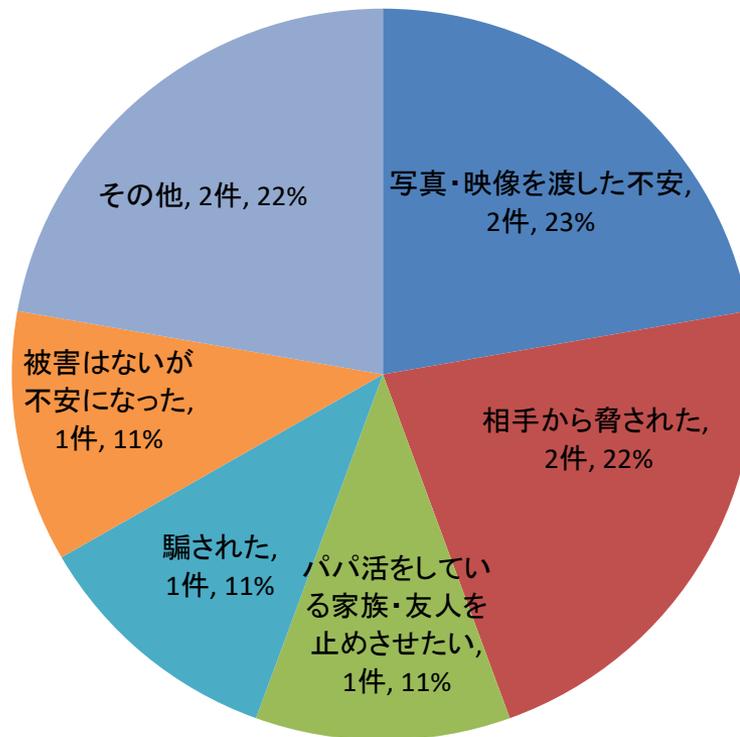
- 5年度、パパ活でトラブルに遭ったという相談は9件であり、年々、減少傾向にある。
- 青少年にかかる相談は4件、青少年以外にかかる相談は5件だった。
- 相談者別・男女別では、青少年本人(女子)と青少年以外(男性)からが最多の3件、次いで青少年以外(女性)からの2件であった。保護者からの相談は高校生女子の1件のみ。



7. 主な相談の概要

(8) パパ活トラブル (イ) トラブルの内容

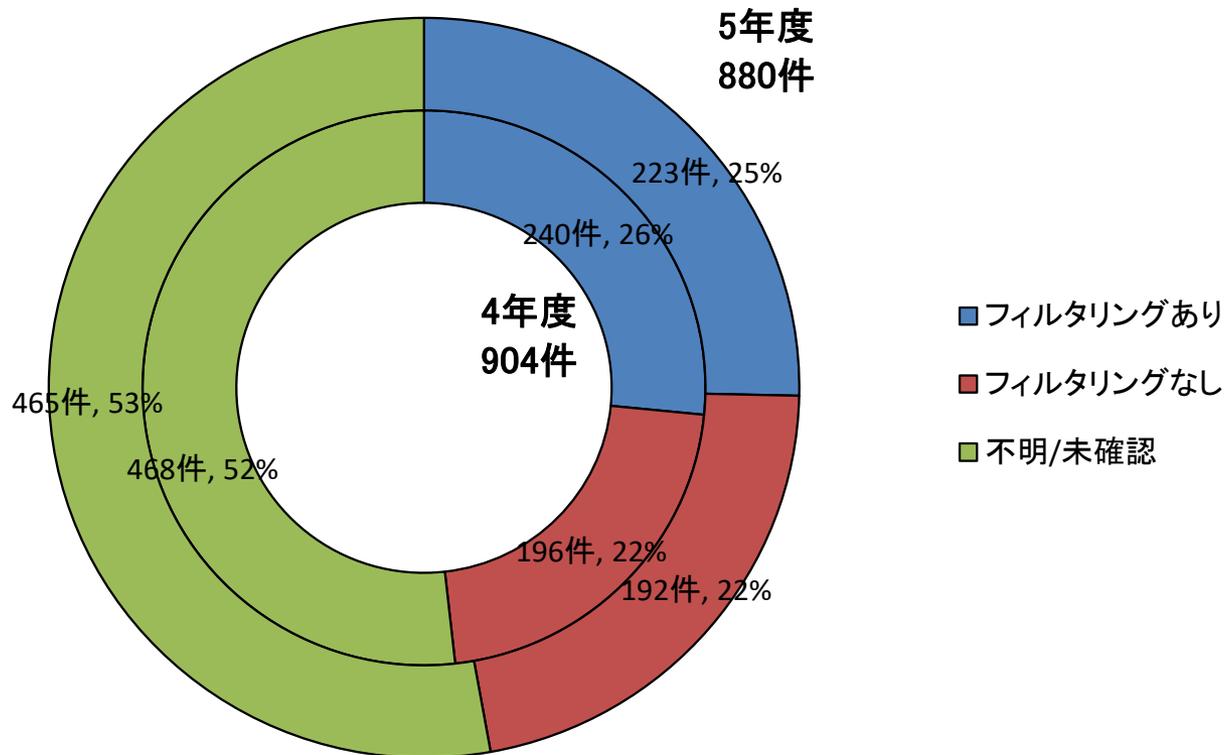
- パパ活トラブル(9件)のうちもっとも多い内容は、相手に「写真・映像を渡した不安」・「相手から脅された」(2件、23%)であった。
- 2番目に多かったのは、「パパ活をしている家族・友人を止めさせたい」、「騙された」、「被害はないが不安になった」(1件、11%)であった。



8. フィルタリング

(1) 青少年にかかる相談・利用状況(4年度との比較)

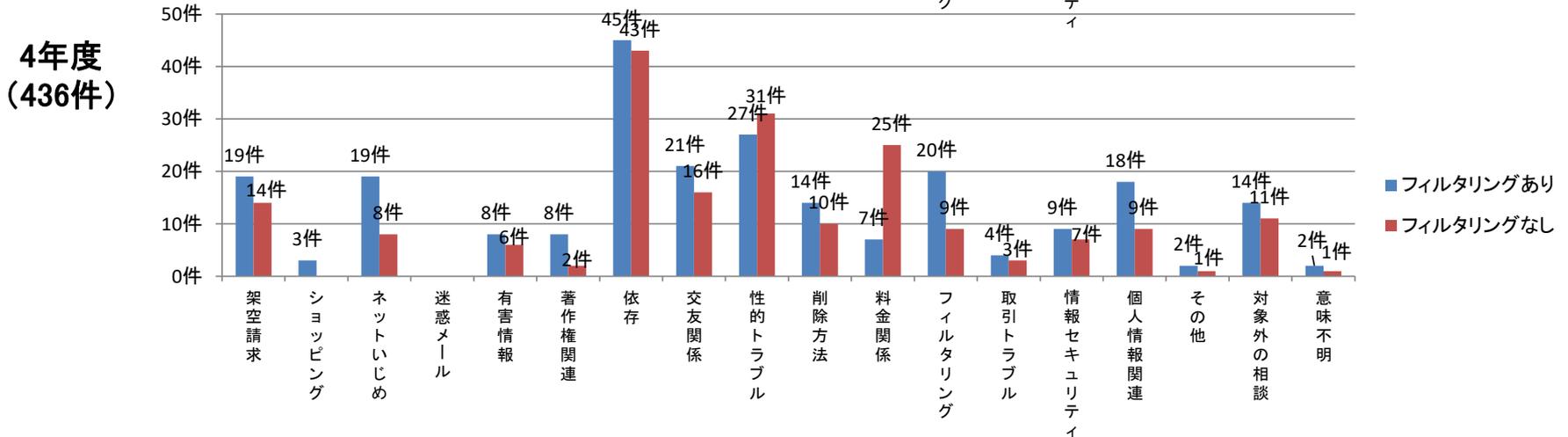
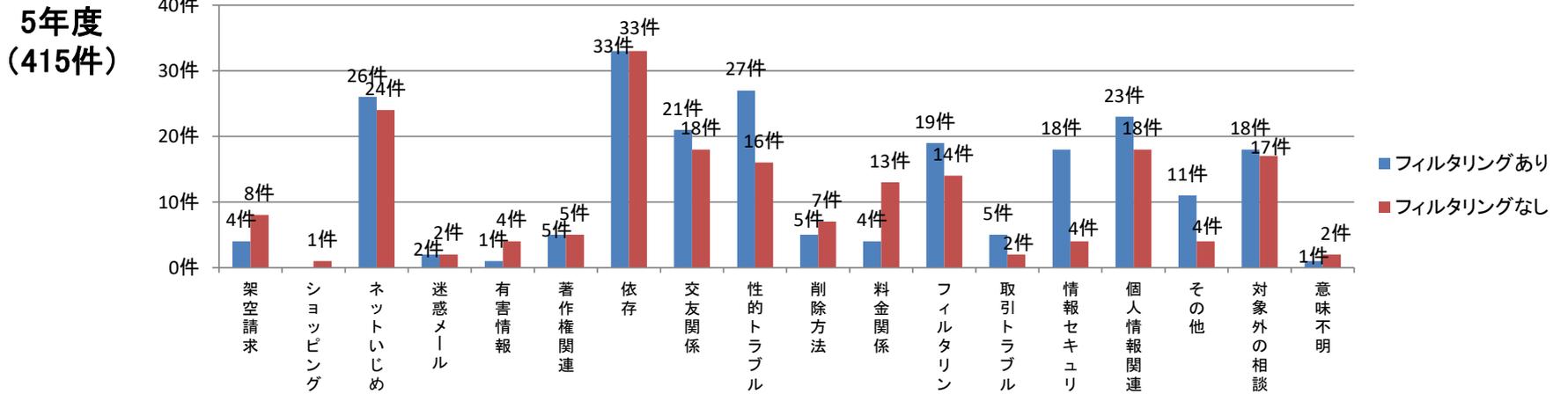
- 5年度の青少年にかかる相談(880件)のフィルタリング加入の有無について、4年度(904件)との比較では、フィルタリングあり(240件、26%→223件、25%)では、件数、割合ともに減少した。フィルタリングなし(196件、22%→192件、22%)の回答は件数のみ減少した。
- フィルタリングを利用しているかどうか不明/未確認の相談者(468件、52%→465件、53%)は、4年度同様に多く、割合が増加し、半数を超えている。



8. フィルタリング

(2) 青少年にかかる相談・内容別(4年度との比較)

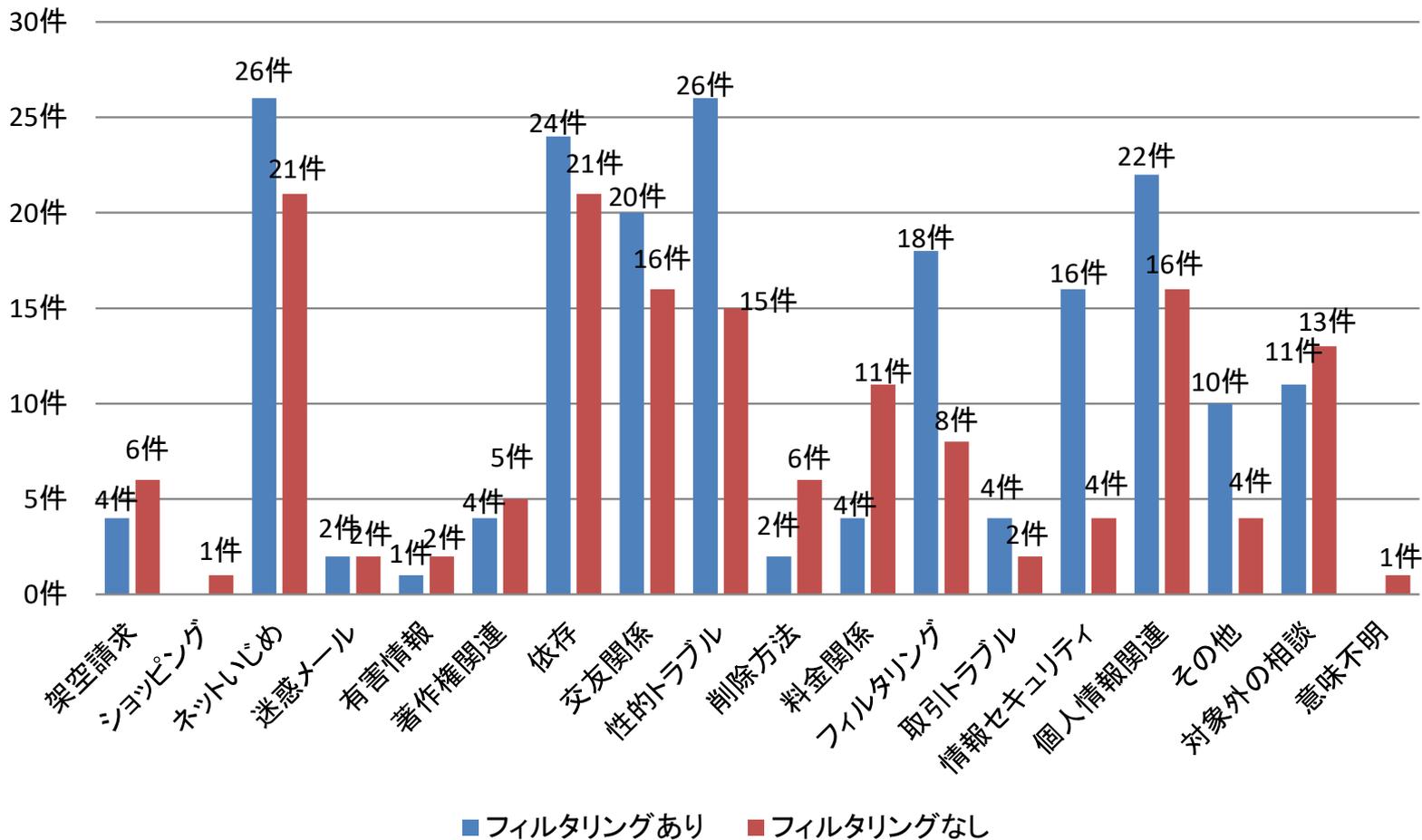
- フィルタリングの有無について回答があった415件(あり:223件、なし:192件)の相談内容内訳は、下記のとおり。
- フィルタリングの利用について「あり」と回答をしても、フィルタリングを利用していれば防げたと思われる性的トラブルや交友関係などの相談は多い。(SNSなどはフィルタリングが有効であれば利用できないため)



8. フィルタリング

(3) 青少年にかかる相談・内容別/携帯電話等

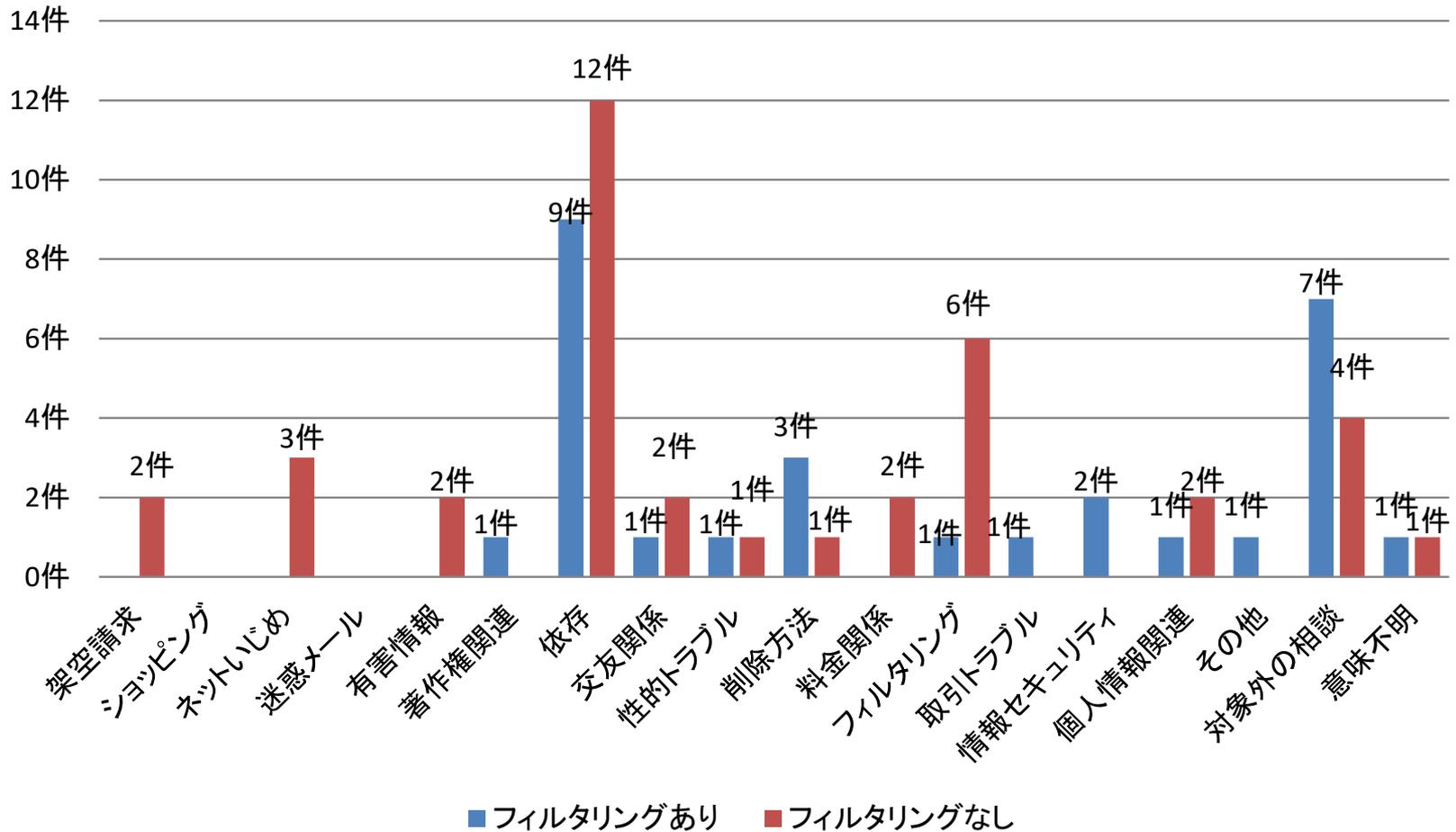
- フィルタリングの有無について回答があった415件のうち、携帯電話等を使用した相談は348件（あり: 194件、なし: 154件）。
 - フィルタリングあり・なしともにネットいじめに関する相談がもっとも多い。
- ※携帯電話等には、携帯電話の他に、スマートフォン、PHSが含まれる。



8. フィルタリング

(4) 青少年にかかる相談・内容別/PC等

- フィルタリングの有無について回答があった415件のうち、PC等を使用した相談は67件（あり：29件、なし：38件）。
 - フィルタリングあり・なしともに依存に関する相談がもっとも多い。
- ※PC等には、パソコンの他に、タブレット、デジタルオーディオプレーヤー、ゲーム機などが含まれる。

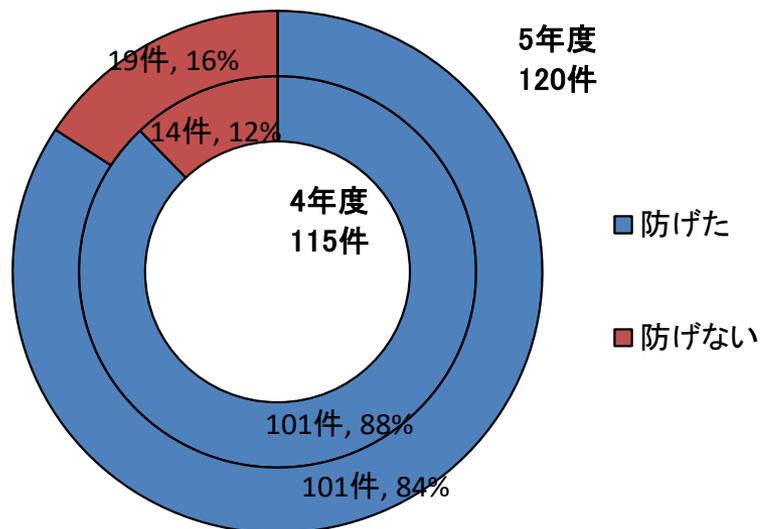


8. フィルタリング

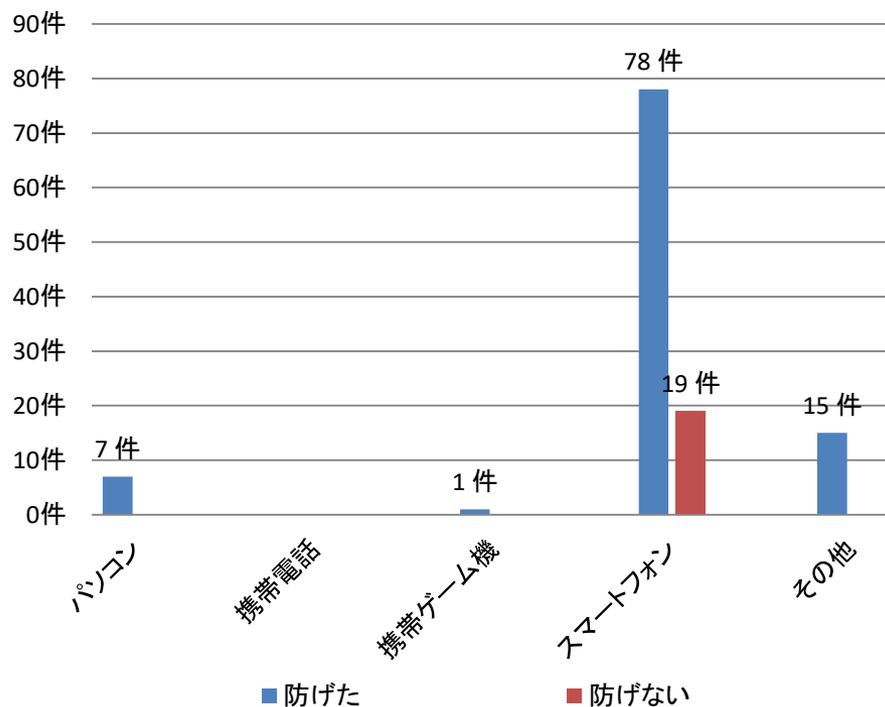
(5) 青少年にかかる相談・防げたか(4年度との比較)

- フィルタリングを利用していない相談者からの相談のうち、原因となっているサイトの名称やURLが分かっている相談(120件)について分析した結果、フィルタリングを利用していれば防ぐことができたと思われる相談の件数は101件、84%で、4年度の101件、88%と比較すると割合のみ減少した。

※「防げた」「防げない」は一律に判断はできないが、原因となっているサイトの名称やURLが、フィルタリング事業者から携帯電話会社へ提供されるデータベースにおいて、どのようなカテゴリに分類されて登録されているかに基づいて判断した。



フィルタリングに加入していれば防げたか



9. 考察

(1) 件数の多い相談の考察

相談全体(1,859件)における、相談件数の多い上位3項目の相談内容について

■ネットいじめ 168件(9%)

令和5年度はネットいじめの相談がもっとも多く、前年度よりも40%以上増加した。SNS、オンラインゲーム、ブログ、掲示板、チャットグループなどインターネット上の誹謗中傷、ダイレクトメッセージを使った嫌がらせや迷惑行為、なりすましアカウントなどがネットいじめに含まれる。言葉による攻撃もあれば、本人が許可しない写真や動画を許可なくグループで共有したり、私的な音声を流出させるなど個々の状況は様々である。インターネット上での解決策として、SNSの運営会社など、トラブルが起きている場所ごとの管理者への削除依頼や規約違反の報告を中心に具体的な手順、証拠の保存方法について助言した。トラブルの相手が身近な知人や友人の場合は、インターネット上だけでなく現実世界での解決も不可欠であるため、学校やいじめ相談窓口へ相談する方法も一緒に考え助言した。

■情報セキュリティ 137件(7%)

情報セキュリティの相談で多いのは、不審なサイトにアクセスしてしまった不安、アプリの安全性、パスワード管理に関する懸念など使い方に関しての心配事から、SNSの乗っ取りやウイルス感染といった実被害に至るまで様々な相談に対応した。「サポート詐欺」をはじめとする偽のセキュリティ警告に関するトラブルも増えている。セキュリティ警告は、利用中の端末に入っている正規のセキュリティ製品から通知されたものが本物であり、インターネット閲覧中にブラウザに表示されたものは偽物の可能性があるとして注意を呼びかけた。偽のセキュリティ警告は大人でも騙されやすく、必要のないアプリをインストールさせられたり、有料サポート契約を結んでしまうなどのトラブルに発展してしまうため、今後も啓発していく必要がある。

■個人情報関連 128件(7%)

インターネットを利用している中で、個人情報の取り扱いに関するトラブルや心配事の相談が前年度よりも約30%増加した。名前、住所、メールアドレス、電話番号、顔写真など個人の特定につながる情報をインターネット上で悪用された被害や、特段トラブルには発展していなくても、インターネット上で知り合った人との会話や相手に渡した写真や動画から個人が特定されるかもしれない不安も多く寄せられた。個人情報は自分自身が発信してしまうことがトラブルの発端になっていることも多いため、自分の情報は自分でしっかりと守る意識の大切さを理解してもらえるように努めた。また、SNSなどでは個々の投稿に個人情報は含まれていなかったとしても、複数の投稿をつなぎ合わせることで個人が特定されることもあるため、利用しているSNSの投稿内容を日頃から見直しをするように助言した。

9. 考察

(2) 青少年の学識別の考察

■ 全体

- 青少年にかかる相談(880件)は、小学生(210件)、中学生(386件)、高校生(244件)、未就学児・学校不明等(40件)。4年度と比べ、小学生は約8%増加、中学生は約10%減少、高校生は約5%減少した。
- 青少年にかかる相談のうち特定項目でもっとも多かったのはネットいじめ(101件)。次いで、依存(96件)、個人情報関連(87件)である。
- 多くの項目が4年度よりも減少し、増加したのはネットいじめ(68件→101件)、フィルタリング関係(39件→41件)、取引トラブル(15件→20件)、情報セキュリティ(32件→45件)、個人情報関連(51件→87件)である。
- 青少年の使用端末は、スマートフォンの割合が4年度よりもわずかに増加し66%(小学生40%、中学生75%、高校生82%)となった。PC(4%)、従来の携帯電話(1%)は極端に少ない。その他の端末(タブレット、回線契約無しスマートフォン、デジタルオーディオプレーヤー等)はわずかに減少した(9%)。

■ 小学生

- 小学生にかかる相談(210件)は増加傾向にある。
- ネットいじめ・依存(27件、13%)がもっとも多く、料金関係(19件、9%)、個人情報関連(15件、7%)と続いた(対象外の相談を除く)。
- 本人からはネットいじめ(21件、18%)がもっとも多く(対象外の相談を除く)、保護者からは4年度と同様、依存(22件、25%)、料金関係(14件、16%)が多い。

■ 中学生

- 中学生にかかる相談(386件)が学識別ではもっとも多い。
- 個人情報関連(52件、13%)がもっとも多く、ネットいじめ(46件、12%)、依存(43件、11%)と続いた(対象外の相談を除く)。
- 本人からは個人情報関連(45件、20%)がもっとも多く、保護者からは依存(36件、23%)がもっとも多い。

■ 高校生

- 高校生にかかる相談(244件)は、性的トラブル(37件、15%)がもっとも多い。次に対象外の相談を除き、交友関係(31件、13%)、ネットいじめ(26件、11%)、依存(25件、10%)と続いた。
- 本人からは性的トラブル(34件、20%)がもっとも多く、保護者からは小中学生と同様、依存(24件、32%)がもっとも多い。